夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一ケ月 金八十錢 郵税 一ケ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番 二五三三番
發行人 十河榮忠 編輯人 松本□男 印刷人 谷啓二郎

日本橋通驛前 中谷時計店 電話三八五四

(幹線路) [illegible]

脱退に際して 改めて問題も起らず
常設國裁には日本も殘留せん 壽府方面での觀測

【ジユネーヴ六日發國通】日本の聯盟脱退通告明も迫つたが此の通告に當つては單に事務總長が之を各聯盟國に移牒する丈けの事で脱退通告前後には別に何等の問題も改めて起きない見込であるが、南洋諸島の委任統治が問題となるのは恐らく二ケ年の豫告期限の切れやうとする來年秋頃から、再來年早々の事であらうと見られて居る。常設國際司法裁判所に關しては、裁判所參加と聯盟參加とは元々別個のものであるし、且つ國際司法裁判所を脱退するとなれば種々問題を惹起するので、日本は聯盟を脱退するにせよ裁判所には殘るだらうと見られて居る

衆議院本會議で
米金融恐慌を説明

【東京七日發國通】衆議院本會議は午後一時十九分開、議長より滿洲國軍及び關東軍に對し熱河討伐一段落を告げ滿洲國の治安も平靜に復したるを以て夫々祝辭及び感謝の打電を爲したる旨の報告あり全員拍手をもつてこれを承認し次いで高橋藏相は米國金融界恐慌に關する狀勢の報告及び我が政府の對策如何に關する意志表示の爲め登壇、米國金融界恐慌に關してルーズヴエルト新政府が執りたる應急對策に關し政府が入手したる情報を要約して之を報告し我國としては此の問題について彼此と徒らに騷ぎ廻つたり、狼狽したりすることは愼み、將來に對して必ず良い方法に向かうさいふ確信を以つて國民全體が堅實なる歩調で善處せんことを希望する旨を述べ、一時五十分藏相の報告を終り、某事件の内容報告の秘密會に入り、山本内相、鳩山文相、小山法相より報告あり、午後三時二十二分秘密會を閉ぢ同三十七分より日程に入り、關税定率法中改正法律案、昭和七年度法律第四號中改正法律案を一括上程、堀切大藏次官より提案理由を説明後、委員附託、次いで辯護士法中改正法律案、法律事務取扱の取締りに關する法律案の兩案を一括議題に供し、法相より型の如き説明あり、これに對し一松定吉氏(民)より質問あり、十八名の委員附託となる、大正二年法律第九號中改正法律案を上程、委員長委員會の報告通り可決、次いで日程を變更し通信事業特別會計法案を上程、委員會の志賀和多利氏(政)より委員會の經過、結果を報告、各派から賛成意見を述べ可決した

米國銀行休業期間の
業務規定を發表

【ワシントン六日發國通】財務長官ウーディン氏は現在の銀行休業を九日以後に延期する意向なき事を六日聲明、更に銀行休業期間中にも適用される業務規定を發表した

金融恐慌に鑑み
對策委員會設置さる

【東京七日發國通】民政黨では七日午前十時から幹部會を開き米國金融界恐慌に伴ふ我國に及ぼす影響に關し種々意見を交換した結果、米國金融恐慌對策委員會を設け調査研究を遂げるに決し左の諸氏を委員に擧げ急速に調査を進めることを申合せた

町田忠治、櫻内幸雄、俵孫一、田中隆三、川崎克、小川郷太郎、田中貢、中島彌團次、櫻井兵五郎、前田房之助、小山松壽、勝正憲

銀行休業は
九日より延期せず 米財務長官より聲明

【ワシントン六日發國通】財務長官ウデイン氏は現在の銀行休業を九日以後に延期する事無き事を聲明し、左の如く語つた

現在の所全國銀行休日を延長する必要が起るとは考へては居ない

銀行休日は延期の必要を見ない中に緊急事態で終る事とならう

對米を除く
對外取引を開始

【東京七日發國通】我が爲替市場は八日より對米を除く對外爲替取引を開始する事になつた

朝鮮の市場
八日再開

【京城七日發國通】各市場は八日再開する事になつた

各爲替銀行
八日より取引開始

【東京七日發國通】正金始め各爲替銀行は本日午後協議の結果對米を除き、明八日より爲替取引を開始する事に決定した

滿鐵增資法律案
八日の閣議で決定

【東京七日發國通】滿鐵の八億圓增資に伴ふ株式引受に關する法律案は、七日成案を得たので直ちに内閣に回附したから、八日の閣議で決定下院に提出手續きを執る筈である

東新の動向
百五十圓見當

【東京七日發國通】東株市場の内氣配は依然無見當で、新東昨日の動向は百五十圓見當週末よりは十二圓安、雜株は爲替休業で無見當だが、再開後案外樂觀説を唱へる向あり、アメリカが九日以後引續き金禁止を斷行するかで分岐點と見られて居る

オハイオ州の銀行
六日業務再開

【コロンバス六日發國通】オハイオ州商業監督官タノーマン氏は六日財務長官が發表した規定に基き、六日より州内の銀行業務再開の旨聲明した

朝鮮同胞に依る 日滿興隆の途(一)
小笠原省三述

朝鮮同胞を通じて

盟邦「大滿洲國」の創建後早くも一週年を迎へんとし、七萬方里の沃土に居住せる三千五百萬の民衆は、民族協和門戸開放主義の標語の下に、着々と「王道立國」の實績を擧げつゝある。これは、國際聯盟が如何に認識不足を曝露する決議をなしても、米露が如何に猜疑羨望しても、儼然たる「事實」であるから、今更否定も抹殺も出來得ないのだ

滿洲國の創建は、滿洲居住民衆の念願に依るものであり、我が日本は是が健全なる發達を援助せしものである事は周知の事實である。而して、わが等は今後益々隣邦にして盟邦たる「滿洲國」の興隆に寄與奉仕すべく、此の目的達成に妨害するものに對しては、斷々乎として排撃する覺悟を必要とするのである

而して、滿洲國の發展興隆に寄與するの途は一にして止らず、各自の立場に依りて異るのは當然である。軍部は匪賊の討伐と治安の維持に、實業家は資源の開發と生産と而して販路の擴張に、宗教家藝術家、教育家は、それ〲の特殊才能を傾倒して此の新興國を擁護し向上せしめなければならない

私は十餘年間「朝鮮及朝鮮人問題」に關心と交渉を有し、滿洲國創建後、二回五ケ月に亘りて朝鮮南北滿洲及間島を旅し、主として「在滿朝鮮人問題」に關する觀察をなせるが故に、朝鮮同胞を通じての滿洲國への寄與及、朝鮮同胞が生くべき唯一の樂土たる滿洲國に關して、左に愚見を述べんと欲するものである

在滿朝鮮人問題の重大性

滿洲事變の直前九月二日の夜私は奉天に於いて支那側の某要人と會見し、在滿鮮農問題に關する極めて興味ある談話をなした

私は支那官民が、在滿朝鮮同胞迫害の事實を數字を擧げて説明したる後

「貴國官民は、在滿鮮農は日本が滿洲に對する領土的野心の先驅者たりと稱して迫害しつゝあるが、斯くの如き深謀遠略の日本人は、今日に於いて一人も無き事を私は悲しむものである」

と率直に述べたるに對し、彼は「朝鮮人の中には赤化運動者が多く、此の取締りを嚴重にしてゐるのであつて日本の先驅者として見てゐるのではない」

と苦しい答辯をしてゐたが、事實は全く然らず、漢民族の移住が激增するに從ひ鮮農驅逐の爲めに暴虐なる制度を設けてゐたのであつた

滿洲事變前及直後、在滿鮮農の實情は、是を人道問題として考慮すべき重大性を有してゐた。即ち、支那官民に依る搾取壓迫殺傷の事實を、世界各國殊に米國の宗教團體婦人團體及平和運動者に闡明して彼等の奮起を促すべきであつた。斯くしたならば、日本の國際的立場が今日の如く惡化せず、有利なる展開を見たのであつたが、わが外務當局殊に情報部の諸公は、此の事實に顔を反け否むしろ隱蔽せんと苦慮せる狀態にありしは、かへすぐも遺憾な事である

日本の積極的な保護を享けず又利用もされなかつた朝鮮農民は、今や全滿洲に約百五十萬(外務省は八十萬と云ふがわれ等は調査洩れと自然增加とが約七十萬あると信ずる)居住し、八萬五千町歩の水田を耕やして百七十萬石の籾を生産し、此價格約四千五百萬圓に上るのである。

百五十萬人の在滿鮮農を、他の三千萬民衆と比較する時に其の質と量とに於いて必ずしも大なるのではないが、其の處遇如何に依りて、朝鮮在住二千萬人及内地在住五十萬人の朝鮮人に重大なる影響を有する事に想到すれば、在滿鮮農問題は當に朝鮮總督府及在滿日本大使館の一部の問題として取り扱ふべきに非ず實に日本の重大なる國策の一として、愼重なる考慮の下に其の良き解決を見出すに努むべきものである

怪人凱歌(くわいじんがいか)
(百六十七)
(舞臺上演 映畫化) 須藤鐘一 (畫)瀧 秋方

初戀 (六)

「僕ね、今、美容院へ行つて來たとこです。すると、あすこでは、もう眞佐子さんは故郷へお歸りになつちやつて、當分お見えにならぬといふんですもの。一たいどうしたのかと、僕すつかり心配しちやつた」

といふうちに、信雄は心の面をくすぐられるやうな、胸をしめつけられるやうな、得態の知れぬ情感を掻きうごかされ、瞼のうるむのをどうすることも出來なかつた。

「さうでしたか。わたしも、今、千鶴子さんをお訪ねしたのに、どこかへ行つてしまつて、居所が分らないといふんですもの、がつかりしてぼんやり歩いてゐたところですわ」

と、眞佐子は病後の窶れした相手の顔を見あげながら、甘へるやうな調子でいつた。

「それについて、いろ〱お話しをしたり、伺つたりしたいですがこゝぢやア何ですから、どこかでお茶でも飲みながらにしやうぢやありませんか」

「ええ、さうしませう」

そこで二人は連れ立つて歩き出した。表通りの人の出入りの繁雜なところは、避けて、出雲町の横丁を左に曲り、狹い裏通りのとあるカフエーに入つた。

まだ午後三時過ぎだのに、採光の加減で室内が黄昏のやうに、薄暗く、テーブル掛けの白布のみが殊更に目立つのだつた。

客は一人もゐなかつた。信雄は奧まつた隅つこを選んで椅子にかけた。眞佐子もそれと向ひ合つてかけた。信雄は例によつて絣の袷と羽織に黑羅紗のマントを着て、黑の中折にステッキをついた學生風。眞佐子は淺ひ朱の洋服に毛皮の襟をつけたオーバー、髮はもう大分延びたのを束ねて、鼠色のさつぱりしたボンネットをかぶつてゐる。此の不似合な一對の客は、人眼を誤むのに敏感な女給たちもちよつと見當がつきかねるらしかつた。

「眞佐子さん、何を召し上る?」

と、信雄が小聲。

「わたし、コーヒーがいゝわ」

「お菓子? 果物?」

「お菓子がいゝわ」

そこで、めい〱の注文を通してから、

「一たい、どうしたんです。故郷へかへつたなんて、出たらめを云はせて……」

と、信雄はその事が第一に聞き度かつた。

「なアに、そんなこと嘘よ」と、眞佐子は輕く打消した。

「え、うそ?」

「それには、ちよつと或る理由があるのよ」と、眞佐子はあたりを見まはして、一層聲をひそめ「つまり先生がわたしの爲めを思つてそんな風に云ひふらしてくれるんですの」

「はてな、眞佐子さんの爲めに嘘をつく……益々分らない」

「それはね、近頃、わたしをつけ狙つてる變な男がゐるんですつて。それがどうやら、いつかお話しいたしました、わたしを廣州から誘拐して出た天野といふ男らしいんです。それを、うまく撒いてしまふ爲めに、美容院には一さい關係ないといふ事にするんださうです」

「そんな事で、惡漢がうまく撒かれるかしら?」

と信雄は危む。

そこへ、注文の品が運ばれたので、話題は一轉する。

「千鶴子さんはどうなすつたのですか?」

「僕の家にゐます」

「お家はきまりまして?」

「ええ、實は此間、戸崎の方に家を見つけたので、あなたから千鶴子にいつてもらはうと思つて、銀座へ出た時、偶然、妹に逢つたので、すぐ連れてかへりました。今日はあなたにお知らせする爲めに美容院をたづねたんですよ」

「さうですか、それでやつと安心しました」

「それで、眞佐子さんは、之からどうするんです。ほんとに故郷にかへるつもり?」

「まさか」

「おや、どうするの、いつそ僕たちの家へ來ない? 之れから僕も千鶴子も新家庭で納豆賣でも何でもして獨立するつもりです」

日日案内
三行 一回金五十錢
被雇度 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
姓名在社 一回金十錢増
御申込みは電話三三〇〇番

質は三浦屋
貸出勉强、保管確實
新京祝町三丁目三(開花前)
三浦屋質店
電話三七七五番

日本刀劍(鑑定無料)
新古刀、研、白鞘本造拵付軍刀調製及鑑賞打粉、丁字油、(錆止)
長春寺町小學校前
井上示現軒
電話三二〇三番

ほねつぎ專門
今辨慶療院
新京室町公學校前

下宿案内所
東五條通及祝町五丁目角
滿日館
電話三八〇二番

合服の御注文は
時代の先端を走る高級既製服、入荷豊富
エスヤ洋服店に
電話二六一九番

造花及生花 神佛具 道具一切
加藤葬儀社
新京祝町二丁目
電話三二〇八番

小口金融
月賦、日賦、其他御相談に應じます
新興社
祝町二丁目四番地(西本願寺向右隣)

山田流 尺八 指南
初心の方歡迎す
師範 西田方山
(ヤマトホテル裏)

滿洲國政府公報取扱
東朝、大朝兩新聞社發行物一切
大阪 東京 朝日新聞販賣所
大滿蒙新聞
朝日舍 栃尾新聞舗
東一條通二
電話二三四二番

洋帳簿 各種製本專門
三笠町三ノ九
三省堂製本所
電話三三一四番

▲職業紹介
無職ニシテ生活ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞動保護會

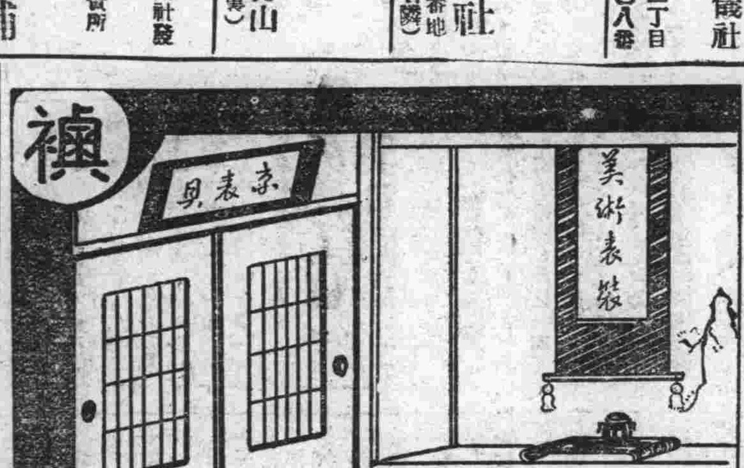
印刷
新京朝日通り
三友社
電話二四三八番

めがねの御用は
金華堂へ
吉野町二丁目
電話二六四五

婦人服
春の服生地
スプリング
ヂヤーヂ
ゼウゼット
クレープデシン
ネニ編
新着豊富
服の店
新京女學校制服調製所
十文字屋
電話二七三〇番
十文字屋仕立のスマートな型!
春は全く朗かです……

新入荷
ステツキ
中折帽子
ネクタイ
ワイシヤツ
和洋百貨 赤木洋行
新京三笠町
電話二二七三番 三八六九番

御料理 會席 鰻 天ぷら
食道樂
吹雪
朝日通領事館下
電話三八四四番



初春の衣裳
新柄陳列
吉野町二丁目
(久) 村岡呉服店
電話二二二四番

感光紙と燒付
和洋青寫眞感光紙
和紙陽畫感光紙
發賣元
大同工業寫眞株式會社
新京中央通三六 電話三二一六番
本店 奉天千代田通三六
支店 大連市榮町四

測量器械と製圖用品
株式會社 内田洋行出張所
新京中央通三六 電話三一一六番
本店 大阪市東區備後町二 東京日本橋區□町一
支店 大連市連鎖街 奉天春日町一

最後の猛撃に移る

事變發端の責任者 王以哲けふぞ見ん

積もる恨みは柳條溝にあり

我爆撃隊勇躍出動

【錦州七日發國通】熱河軍の大敗に狼狽した學良は、古北口の王以哲をして部下一ヶ師を從へ古北口の東北十五キロの兩間房に向はしめたとの報を得た〇〇飛行隊では、午前七時飯田大尉を編隊長に〇〇機、大西大尉を編隊長に〇〇〇機全力を擧げて爆撃に出動した

【承德七日發國通】健氣にも承德奪回を策し日本軍と一戰すべく古北口より續々進出しつつある王以哲軍に對し、我軍は皆一齊に行動を起し、六日夕灤平を發し古北口に向つて前進を開始した、長瀨部隊は七日午前十時五十分馬圈子南方四キロの地點に到達、古北口に向け强行軍中である

古北口も今朝は陷落の外なからん

【承德七日發國通】古北口方面の敵を撃退すべく、猛進中の長瀨部隊は强行軍を續け、今夕或は明八日朝迄には敵は古北口を放棄するの止むなきに至るであらう

北方には堅固なる敵陣

【錦州七日發國通】古北口方面の敵狀を偵察した〇〇機の報告によれば、古北口北方には北側に向け堅固なる敵の陣地構築されつつあり、相當數の軍が配置されて居る見込である、敵軍の行動は漸次積極的に動いて居る

我空軍大活躍

古北口の敵軍大打撃

【錦州七日發國通】本日午前七時二十分古北口方面に向け進撃中の敵を全滅すべく、〇〇根據地を發した我空軍の精鋭〇〇〇機〇臺は午前十時卅分三間房、兩間房附近に於て北進中の敵集團を發見、直ちに頭上目懸けて猛烈な爆撃を浴せかけ、恐れを爲して四散する敵を散々に傷めつけ、多大の損害を與へたが、此の猛彈により敵の住宅村落は火災を起し濛々たる火焔をあげた

我先鋒は昨朝馬圈子通過

又〇〇根據地を發した〇〇機は午前十時五十分より十一時十五分間に於て古北口附近に前進中の約千五六百の敵軍を發見、之を爆撃全滅的大打撃を與へ悠々歸還の途に就いた又〇〇〇機よりの無電報告によれば、午前十時四十五分頃我が〇〇部隊先頭部隊は早くも兩間房北方八キロの馬圈子附近を勇躍前進しつつあつた

敵は高射砲で射撃

翼に二彈命中

【錦州七日發國通】友軍長瀨部隊の前進を掩護すべく、七日早朝〇〇飛行場を發した我〇〇機〇臺は、午前十時古北口方面の敵に爆撃を加へたが高射砲を有する敵は我機を射撃、機翼に彈片二ヶを受けたが無事歸還した飛行機の偵察によれば、古北口には堅固なる陣地あり機上より機關銃高射砲、自動車等が見られた

商震軍遂に何柱國軍と衝突

兩軍の死傷者多數に上る

糧食徴發に發端

【山海關七日發國通】商震軍の何柱國軍に對する監戒的態度は益々嚴重となりつつあつたが、五日夕刻後に兩軍の間に衝突事件を惹起するに至つたが、右原因は朱各莊にあつた何柱國の部下二百名が灤河を越えて糧食徴發に向つた所商震軍が斷然之を阻止し、遂に發砲するに至つたもので兩軍とも多數の死傷者を出した

撃滅の日目睫に迫る

【承德七日發國通】王以哲の指揮する支那正規軍約七千は古北口より漸次熱河省内に侵入し來り我軍と最後の一戰を交へんとし長城を境に不穩の氣みなぎり、延いては承德の民心動搖せんとしつつある爲我軍は七日午前九時〇〇より〇〇機〇臺を以て熱河省内侵入の王以哲軍に爆撃を敢行し午後二時〇〇に向け歸還した尙步兵部隊其他の混成部隊〇〇名は自動車に分乘、本日當地出發、延々長蛇の如き大縱列を作つて勇躍一路を進撃續行した、古北口の王以哲の撃滅目睫に迫つた、滿洲事件の幕開けした王以哲の最後の幕を閉じる役になりそうなのも奇しき因縁である

我〇縱隊は明水塘邊門前進

【錦州七日發國通】昨六日午後〇〇機の齎らした情報によれば次の如くである

一、我〇部隊の縱隊及〇兵は午後二時卅分明水塘邊門西方に進出敵を白土峰、明水塘邊門西北卅キロの地點に敗走せしめた

一、承德黃姑屯附近には敵兵を見ない

圍場の敵敗走す

茂木部隊昨早朝錐子山に

【錦州七日發國通】圍場附近の敵は、約二百にして陣地を構築し、障碍物を設け皇軍と一戰を交へんとばかりに意氣込んで居たが皇軍の襲撃により敗走した

【圍場七日發國通】赤峰を進發せる茂木部隊は昨六日同作戰の下に圍場を占領したが茂木部隊は本早朝再び進撃を開始し圍場西、錐子山に迫つた

王以哲軍展開 兩間房前面の山中に

一大決戰の幕開かる

【承德八日發國通】王以哲の全軍は自動車馬車、駱駝の隊列を造り、承德街道に向け進軍し來り、兩間房前面の山中に展開した、今や日支兩軍の全面的一大決戰が開始されんとし形勢愈々迫りつゝあり

中村部隊

先鋒は李金溝に

【錦州七日發國通】六日朝から行動を起した中村部隊は、前面の敵を壓迫しつつ、六日夕刻その先遣隊は李樹溝（杖子の東北十二キロ）に、又内田前衞は李金溝、左縱隊は東杖子の線に達し前進中である

茂木部隊 圍場に入城

【圍場七日發國通】茂木部隊は昨六日夜圍場に入城し、七日早朝圍場出發早くも前面の敵を攻撃中である

湯玉麟 豐寧に退去

【奉天八日發國通】某方面からの報告情報によると、湯玉麟は軍に先立ち、自動車百輛を連ねて豐寧に退去した

戰に敗れたけふ 四面楚歌の湯玉麟

進退谷まり行方不明となる

【承德七日發國通】我軍の入城により、逃走せる湯玉麟は北平をさして逃走の途をたどつたが、古北口に達するや學良の麾下部隊に關內入りを拒絶され、全く進退谷まり何れにか姿を消して了つた

逆將湯玉麟の官職を褫奪す

去六日の國務院會議に於て逆將湯玉麟の參議府副議長の職を褫奪することに決し、本日參議府會議の諮詢を經たるを以つて近日中に發令せらるる筈である

湯玉麟を斬罪に處せ

河北十二黨部憤慨

京津方面から當地某處に達したる情報に依れば今回の熱河敗戰に依る湯玉麟、張作相、萬福麟等に對する非難攻擊

『囂々』として起り、河北省內に在る十二黨部は悲憤慷慨の字句を列ね湯玉麟等今回の敗戰は實に國恥を世界に晒すものだ須らく斬罪に處せよと建言書を中央執、委員會、北平軍事委員會に提出し又上海方面の情報に據る支部派は一齊に湯玉麟の敗戰を攻撃し湯玉麟は日本軍が承德入城に先立ち二百五十八台のトラクに私財を積載して逃亡し承德は僅かに百二十騎の日本軍に占領されたる湯は前に樹木にも皮あるが如く人間にも面の皮があると豪語した其意氣があればトラック二台を以て僅か一騎の敵に當ることが

『出來』なかつたか今回の見苦しい敗戰は世界の嘲笑を買ふものだ斬罪に値すると各方面非難攻撃の的になつてゐる

湯玉麟に對する監察院の彈劾文發表

【北平八日發國通】學良の辭職と共に湯玉麟に對する監察院の彈劾文も發表されたが學良の辭職申出は不問とし、一切の責を湯玉麟に負はせ之を彈劾する事となつた、以上之に對する共同の責任者たる學良としても形式的に責を負ふ事として此擧に出でたるものと見られ、中央の慰留により直ちに引込ませる形式的のものと見るが順當である、眞に學良の下野が實現されるに於ては尙關內に充滿する直系雜軍の蔣閥間に相當の離合分裂の局面が開かれてからの事と期待され、相當時日を要すべし

湯玉麟を處罰せよと

南京政府イキリ立つ

【南京七日發國通】湯玉麟の所在は不明なるも、確かなる筋の情報によれば、手兵三千を引率して豐寧に退却したものの如くである各方面から湯玉麟處罰の聲が高く、南京中央軍事委員會では五日臨時會議を開き「戰はずして領地を棄て退却した將領は銃罰に處すべし、又各軍は死を決して敵を防ぎ國內に一歩たりとも侵入せしむ可からず」と北平軍事分會に發電した

外國人は異口同音

天津との交通整備を切望

【山海關七日發國通】今次の熱河作戰の成功は今更の如く各國をして驚嘆せしめてゐるが、殘るは只敗殘兵に對する警戒のみで、この上は一日も早く天津との交通を整備せしむ可しとの念を深からしめて居るが、北寧鐵路英人某技師其他外人方面の觀測によれば學良は自己の地位を保持する上から排日運動を緩和し、當分雜色軍の整理に專念すべく北寧沿線の支那軍は已に熱河敗戰を知り、去就に迷ひ戰意の如きは爲にしたくもなき模樣である

學良、蔣に對し當面の問題處理を建議

【山海關七日發國通】天津よりの消息によれば、學良は今次の熱河敗戰を以て却つて過去を清算し、北支に於て地盤を確立する絕好の機會なりとし、蔣介石に對し次の如く建議し、その諒解を得て秘密裡に之が實行に着手して居るといふ、即ち

一、湯玉麟を始め在熱河各軍は對日戰に努力せしめ漸次精鋭を以て全部整理する

二、湯玉祥に對しては更に南下を要請し、如何にしても應ぜざる場合は熱河作戰に協力せずとの理由の下に之を糺彈し、必要あれば實力を以て張家口より驅逐する

三、韓復榘に對しては劉峙をして監視せしめ、機を見て劉峙軍及直屬軍を以て兩端方より之を攻撃する

四、この機會に安福派、西山派、舊直隸派等の策動を根絶す

敗戰の責を負ひ 學良、南京政府に辭職電

【北平八日發國通】熱河敗戰の責を負ひ、學良は昨日南京政府に對し引責辭職の電報を發した旨、昨夜深更發表された、電文內容「東北失地回復に努力して來たが、熱河の事件は計らずも十日に及ばずして地を失ふこと二千里、此の原因は種々あるも責は學良一人の無能によるものにして、政府に對し國民に對し申譯なし余は十八年以來努力したるも事志と違ひ、徒らに罪を積たり、政府は速かに余の一切の職を免じ、中央より有能者を派して交代せしめられたし」尙南京政府よりはまだ之に對して何等の回答なしと

偽勇軍の不甲斐なさに

一切の後援を見限る

上海南京方面の新空氣

【上海七日發國通】熱河に於ける偽勇軍の慘敗に當地方の偽勇軍後援會は、その賴む可からざるを知り、今後一切の援助を拒絶する事となつた、これにより今後に於ける偽勇軍の活躍は大した期待もかけられず、或は自然消滅の形となるだらうとの觀測が一部人士間に行はれて居る

中央軍の北上 學良援助か疑問

【北平七日發國通】蔣介石の命を受けた第二十五師は、最近通州に集合を終り、その他中央軍中西軍も續々北上中であるが、最近の蔣張關係より見て、右は果して張學良援助の目的によるものか疑問視されて居る

永井駐獨大使赴任

【東京七日發國通】永井駐獨大使は十三日發シベリヤ經由渡歐する事となつた

產金買上一時停止

【東京七日發國通】大藏省は僞替相場の動搖に伴ひ、產金買上額の算定不可能に陷つたので當分買上を中止するに決定し、七日日銀に對し政府から改めて指示するまで買上中止せられたき旨通告した

蔣介石の歡迎に 何應欽保定に急行

或は學良も南下か

【北平七日發國通】學良と熱河對策につき協議中であつた軍政部長何應欽は、蔣伯誠同伴、今夕八時當地發保定に向つたが、同地で昨夜漢口を出發北上の途にある蔣介石を歡迎、熱河問題並に北支地盤問題につき學良の態度を報告し今後の處置を協議する筈であるが、場合によつては學良も同地に赴く事となろう

陸軍定期大異動本日發表さる

【東京七日發國通】七日午前九時より三長官會議を開催し閑院參謀總長宮殿下、荒木陸相、林敎育總監參集、三月の定期異動に關する人事局案につき審議の結果最後の決定を見るに至つた、陸相より上奏御裁可を經た上一兩日中に公命を發し八日頃發表の筈である、今回の異動で既報の如く眞崎、本庄、阿部の三中將が將に親補され、本庄大將は奈良大將の後任として侍從武官長に推されてゐる

難局に處して 學良の態度が見もの

【天津七日發國通】熱河僞勇軍の慘敗に學良を主班とする北平軍事委員分會は、周章狼狽の極に達し、蔣介石、張學良間には頻々と

『電報』の往來あり一方北平には連日連夜に亘り軍事會議を開き、對日態度につき協議を開き、即ち萬里長城を利用して日本軍を迎撃すべきか、熱河侵略を斷念し、更に北支の警戒につくべきかにつき協議が續けられて居る、一方長城方面に於ける支那軍の集結行動は最近極めて活溌な狀況を呈して來た、此間にあつて、その態度を最も注目されて居る學良は、一身の安全を圖るため避難せんとの意向を抱いて居るとの說がある、他方蔣介石の北上說さへも北支の狀勢は、おもちや箱をひつくり返したやうな混亂の中にも、風穩に滿つる極度の緊張味が漂つて居り

『長城』を重點として、支那軍の今後の行動如何に展開されるか天下の視聽は萬里長城の線に注がれるに至つた

外人の眼に「映じた滿洲國」（十三）

首都警察廳 堂脇俊盛譯

財政援助の洞察

聯盟及それに關係を有する一同は滿洲が今日迄の制度を廢棄する意圖を有するならば滿洲の財政問題は最も錯綜せる[illegible]洲の一つである事に氣付くであらう滿洲國が獨立分離すると云ふ事は今現に正當なる貨幣地金の準備をして堅實なる一定貨を國民に提供しつつある滿洲中央銀行の整理と云ふ事を含まなければならない

滿洲の被掠奪銀行（實際滿洲の銀行は軍閥より掠奪されて居たのである）の財產及東京日本政府記名裏書の保證擔保付二億圓の負債を引きつぐ事に依つて滿洲中央銀行は全く滅亡の外なかつた滿洲貨幣制度を防ぎ得るのである。滿洲制度時代には銀の保證準備金なくして紙の價値に等しき數十億の紙幣を發行したのである。

斯の如き馬鹿らしき掠奪[illegible]度はそれ自体物語の價値をしか有せないのである。

中央銀行は滿洲、支那、及日本の銀行業者を共同包含し、長春政府に依つて開業せられた、開業に當つて中央銀行は現在流布されて居る紙幣は國ヶ銀行の開業に先づ二ケ月の間に市價の通り相場の平均額にて買戾すべき事を承知したのである、銀行は今新紙幣を發行し又交換に應じつゝある今滿洲人は紙幣の背後に銀の有る事を知るに至つた、此の簡單なる改良は殆ど『戰爭』だけの價値があるのである。信用するに足る此の種銀行の日々の如斯き繁盛は昔時の制度下の高率銀行利息に化して掠奪に苦しみし幾千農民を新政府黃色族の下に導き來るものである。

再び滿洲に此の望み多き新政府の破壞に依つて引き起されるであらう如き昔時の銀行掠奪者の侵入を許容するとすればこれは世界の責任に外ならないのである、滿洲國たる獨立滿洲は專政に反抗して一撥を起した自覺ある人民の自發的に建設したるものである。滿洲人の大部分が此の運動を起すに當つて一自己推選の指揮者を戴く事は當然である指揮者は何百萬の滿洲人に無盲に希望して止まなかつた。正直なる政治と云ふ事を與へたのである。

撫順記者團視察

撫順記者團九名は九日撫順發約十三日の豫定で北滿北鮮視察の途にのぼる筈で、新京には十日午前八時着同八時三十分發で吉林に向ひ敦化、延吉龍井村を經て北鮮に入り一巡して二十日頃歸撫の豫定である

日銀週報

【東京七日發國通】日銀週報（單位千圓）

發行兌換券	一、一二三、九六一
正貨準備	四二五、〇六八
保證準備內譯	[illegible]
公債	[illegible]
政府證劵	[illegible]
手形	[illegible]

森島ハルピン總領事來京

【ハルビン七日發國通】森島總領事は八日午前九時十分

ラジオ

九月（木）奉天

錦州前一一、〇五 錦州よりの放送

一一、四〇（內地向）

奉天後五、〇〇 レコード

新京後五、二〇 演藝

錢行 金銀相場 商業通信社

奉天後五、四〇 講演

東京後六、〇〇 ニュース

東京中央放送局編輯

新京後六、二〇 時事解說

（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース

奉天後七、三〇 ニュース（英語）

新京後七、四五 ニュース（露西亞語）

新京後八、〇〇 ニュース（朝鮮語）

新京後八、一五 ニュース 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京後八、三〇 時報

東京後八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯

人事往來

▲安田大佐（關東軍司令部）七日午前九時發奉天へ

▲世良大佐（同上）七日午前九時大連より來京

▲吉田大將（滿鐵顧問）七　四時着京

▲泊大阪府內務部長七日午後四時牛南へ

▲張東巴（中東鐵路駐京辦事處長）七日午後七時五十五分哈市より來京

▲羽佐田少佐（陸地測量部）七日午後七時五十分來京

▲筑紫參謀七日午後七時五十分大連より來京

▲西大佐（軍司令部）七日十時發奉天へ

▲湊砲少佐（興安北分省長）八日午前八時四十分哈市へ

よい菓子を安心して買へる店

590

森永ベルトライン　吉野町　朝日堂

阿片卸賣人決定に 俄然非難の火の手
前科者で只名儀のみの者に 許可されたとの評

既報、滿洲國阿片卸賣人は滿洲國政府において嚴選に嚴選の末決定、全滿各地で十名の決定發表を見たが嚴選といふ傍らある種の運動奏効し絶對許可さるべき資格を有せざるものに許可されたとの世上紛々たる非難の聲揚りつゝあり、先づその非難の急先鋒にあげられてゐるのは新京代賣人新京城內西四道街傳信古氏に關する許可問題で、氏の人柄については左の如き投書あり、傳へられる處によれば氏は名義人として月給二百圓で雇はれ、別に賣揚金に對する利益配當として月額三百圓宛を支給することに某方面と契約成立し居る旨、同人の口より傳はられた由で、俄然問題は表面化し監察院、偵輯隊、主都警察廳では絶對秘密裡に調査に着手した

民國初年在長春何知府當下差後當收發處後當推使後伊少爺吸喰阿片等々不正當行爲以後前二年要錢飯賭類次官家去傳伊人逃外有的刻下伊人家貧本市住戶房產共有七十八間共有財產不到五萬元資格

鄕軍分會功勞者の表彰式を擧行

來る十日の陸軍記念日を期し始終皇軍のために後援の力を惜まなかつた陸軍々事功勞者の表彰が行はれるが、關東軍關係では哈爾賓一名、奉天二名、新京一名で、新京は在鄕軍人新京分會長四戶友太郎氏が銀盃、表彰狀功勞徽章の贈與を受ける筈である

高田部隊の勇士

〔錦州七日發國通〕五日永金億の激戰に於て積雪を血に染めて花と散つた高田部隊の名譽の戰死者は次の如し

戰死 步兵軍曹 別府赤具　同 久保雄司　步兵上等兵 鈴木清作　同 澤渦豐　同 甲斐常四郎　同 鈴木常吉　同 森山留吉　步兵一等兵長 鳴正雄　工兵一等兵 安立周一
戰傷者 上等兵 黑木昇　重傷 同 甲斐留雄　同 池田通
輕傷者は三次次郎中尉以下二十三名である

航行を强制すれば 全乘組員下船

〔大連七日發國通〕竹澤船長平井大同海運支店長は、正午過ぎまで協議を續けたが、名案なく、乘組員の決意を傳へると共にこれに對する大同の意向を質す電報を發したが會社が塘沽行を强制する場合は全乘組員の總下船を斷行すべく、乘組員の決意愈々堅く、會社の回答は注目されて居る

竹澤船長はこれに就て語る 名案は無い、だが日本船員としてこのまゝ運ぶ譯には行かない、荷主會社の意向も聞かねばならぬから、會社へ指令を要求して置いた吾々全乘組員の總意によつて動くのだ、下船する樣な事になれば、私も又全乘組員と行動を共にする

春丸輸送問題後報

〔大連七日發國通〕上陸した春丸竹澤船長は目下來連中の大同海運平賀上海支店長と共に再び問題の船に引返へし熟議を凝らしてゐるが、荷主が米國人たる關係上國際問題を惹起する虞あり、解決は仲々容易でない模樣である大連に陸揚げした場合、滿洲國稅關が敵國の武器と認定して沒收するのではないかとの說もあるが、これに對して稅關當局は假令學良の手に渡るものであつても宣戰布告をしてゐない今日沒收は出來ないだらうと云つてゐる、又フォード會社が大連に陸揚し、外國船によつて塘沽に輸送せんとするかも知れぬが、かゝる場合は埠頭日本人從業員が結束して作業を行はぬ事は豫測される所であり、結局このまゝ內地へ送還の外あるまいと見られてゐる、フォード會社滿洲總代理店某日本店員談 私達も日本人たる以上學良の手に入るものだつたら送りたくありません、而し未だ本店から何らの指令もありませんから、これに對する意見も述べられない、若し大連に揚げて滿洲で賣捌く事になれば、百臺位はわけなく賣れると思ひます、何しろむづかしい問題です

米山先遣隊
綏中より凌源迄の戰鬪詳記

〔東林子六日發國通〕熱河討伐軍の最難關と目せられた萬里の長城に沿ふ山岳重疊天嶮難路を打越へ、激戰又激戰、敵が精鋭を以て誇る學良正規軍六ケ師を粉碎、僅か七日にして萬里の長城を陷落せしめた服部々隊、米山先遣隊の殊勳は、我戰史上に特筆すべき事實であり、其の意氣たるや皇軍の精華を中外に宣揚せるものである、同軍の隊中出發以來冷口占據までの戰鬪狀況を詳記すれば左の如くである

×　×　×

二十六日午前熱河討伐の火を切つた服部々隊は、曩に蘇炳文討伐に勇名を馳せた矢崎參謀の補佐せる米山部隊を先鋒とし、主力及關東軍〇〇車隊第〇〇隊これに續き、左翼を服部々隊、松野尾部隊、右翼を〇〇部隊の谷部隊並蓋滿洲國丁强軍が進み、南北約十里に亘る水も洩さぬ討伐陣を張り、堂々進軍を開始した此日寒氣凜烈、氣溫零下二十度に下り、結氷固く全軍幸先よしと勇躍前進したが、翌二十七日省境に迫る頃から俄かに氣溫上昇した爲結氷ゆるみ六股河の重量渡河不能に陷り米山先遣隊は生命と頼む自動車を放棄するの已むなきに至り徒步行軍を開始した、同隊は先づ省境白石嘴邊門に於て鄒桂林軍と遭遇交戰後、何なくこれを擊退して敵の第一線沙帽山に殺到した、此處に堅固な陣地を築く孫德全の第百十九師と激戰、午後二時頃より敵は東西に蛇山上から十字砲火を浴せ來り、戰は夜に入るも止まず、遂に二十八日午前九時に及んだ、折柄到着せる我部〇主力の進擊に敵は全く戰意を失ひ、陣地を放棄し算を亂して潰走した

戰鬪に於て三百餘りの敵の死体は塹壕內に折り重なつて遺棄されてあつたが、我方には渡邊一等兵が負傷したばかりだつた、同日午前九時敗走する敵を急追し沙帳山背面の胡家嶺に出た同隊は、此處に陣地を築ける敵と六段河上流で激戰二時間、敵千五百を潰亂せしめ六十餘名を捕虜としたが、我損害は谷山軍曹、砂田一等兵戰死、石橋、菊池、菊坂の三一等兵の負傷を出したのみ、同日正午頃自動車隊は〇〇〇部隊麾下の工兵隊の掩護架橋工事で六段河渡河、隊勢を整へて先遣隊を分乘せしめ潰走する敵を猛烈なスピードで壓迫、大杖子方面の野雞溝の敵の第三陣に迫つた常山の敵は第百十九師の一部並に王樹常の第八師で、二千二百米の高地に構築せる大個の砲壕からは我軍目がけて亂射を加へ、午後六時頃迄二時間にわたり激戰、我軍遂に敵を沈默せしめ遂に同地を占領した、此戰鬪に於ける我損害負傷坂本上等兵、野口一等兵、敵の損害遺棄死体四十を數へた、先遣隊は翌一日午前六時凌源に向つて出發準備中、へ如敵の逆襲を受け再び大激戰となつた、折柄我〇〇隊〇機は敵の頭上に飛來、盛んに爆擊したので敵は恰惶算を亂し北方に向け退却した、爆彈は敵の大將李に命中兵五六十騎駄三十馬九十は見る間に粉碎された、我が損害戰死山崎上等兵、隊員傷工藤中尉古川輜重兵、先遣隊は氣强くも直ちに前進、北章營子から蘇家子に至る街道を敗走する敵に自動車上より機關銃の猛射を浴せ乍ら超スピード追突を敢行、敵を潰滅せしめて擊進、凌源前方二里の地點に於て于兆麟の第百三十師と交戰激戰二時間の後之を擊退、燒却された橋を修理しつつ凌源に向つた、之よりさき我軍急追擊の報に市內は大混亂を呈し、敵首腦部をはじめ敗殘兵は軍服を便衣に着換へ、一戰を交へる意氣もなく右往左往し、前日指揮の爲め來源せる萬福麟は僅かの手兵を從へて隊を潰して逃走した、我軍は無人の野を行く如く驀進又驀進先づ凌源南方高地を奪取次で午前十一時三十分敵の防禦を排して凌源城高く日章旗を飜へした、此の戰鬪に於ける我損害戰死窪田曹長、負傷山田中尉、橋爪八枝、床次、片桐、各一等兵、米山先遣隊に遅れる事四十分、午後零時頃朝陽から進擊し來つた川原挺進隊も入城した、米山先遣隊はホツト一息つく暇もなく直ちに前進續續、凌源から西南方に走る敗殘兵を掃蕩しつゝ進擊、十五里の行程を突破し北營子に到着した、一日早朝同地を出發した本隊は、降りしきる白雪を冒して拉々爾鋪の峽輪に迫つたが、山嶺中馬河の橋は敗殘兵匪の爲燒却された、直ちに架橋工事をしたが、最後に取殘された橋梁修理班及び大行李掩護の裝甲〇隊は突如約一千の敵に襲擊され、一時は危ふく見へたが、く應戰、激戰二時間に亘り彈丸の盡きる迄射ち捲り前進部隊々らの急援隊來る頃は完全に所持の彈丸を射ち盡し居た九死一生を得た我が伊林輜前部隊は漸くて無事拉々爾を突破し大障子に宿營した、數日前より附近に集結しつゝあつた沈克軍は俄かに前進を止め、くびすを返して退却せりとの報に接した先遣隊は、前面に重疊するアルプスの險を想はせる峯又峯を踏破した明くれば四日早朝より附近に集結しつゝあつた沈克軍は冷口方面に向け退却中なりとの我飛行機よりの報告に接し、先遣隊は敵が長城內に逃げ込まぬ前に追及擊滅すべく決意し、自動車の快足に委せ、疊々たる峯を千辛萬苦して走破し、長城前二里の地點に於て長城方面に向け敗走する沈克軍を認め之を急追、猛烈なる攻擊を加へ、敵三百餘を斃した長城の關內に殺到した、沈克軍は長城の最後の線で喰ひ止めんと踏み止まり、長城を行く七十間半に亘り激戰を交へたが、我軍猛擊又猛擊、敵に多大の打擊を與へて萬里の長城高く日章旗を飜へしたのは正に四日午後九時二十分、散々に打ち破られた敵はくもの子を散らすが如く建昌營方に敗走、同所にあつた第百八並に第百三十二師の應援を得て我軍の宿營地東林子（長城の直下北に面する部落）に向け猛烈に迫擊砲彈を打込み、俄然我が山砲隊との間に砲戰が展開され、從我兩軍長城を差し挾んで激戰二時間に及んだが、我砲擊は敵を完全に沈默せしめた、此の戰鬪に於ける我負傷は富田上等兵、谷本、吉田各一等兵

米山先遣隊は踏破すること正に八十餘里前後實に十八回に及ぶ大小激戰を經たるに損害極めて僅少なりしは天與とされてゐる、本六日の情報によれば建昌營子を經て日本軍は必ず關內に進入するとの諸言もたり市內は大混亂を呈し敗殘兵は掠奪を恣にして天津方面に逃亡し、建昌營子には今や殆ど影を見ない狀態である

非常時局に際し 憂國の士よ起て！
來る十日の全滿日本人大會

新京時局後援會主催の非常時全滿日本人大會はいよく來る十日陸軍記念日當日午後一時から商業學校講堂に開催されゝ、今や非常時局に直面して帝國々民殊に第一線に立つ在滿同胞として重大なる決意を要する秋、これが滿洲國の首都新京に於て開催されることは最も意義あることでなければならない、當日は新京地方委員會議長勘崎仙英氏司會の下に、まづ同會者の挨拶あり新京地方事務所長荒木章氏を始め各地代表も交々起つて熱辯を振ふことになつてゐるが新京在鄕軍人會分會長四戶友太郎氏の主唱で滿蒙一致宣言決議が行はれるはずである

『當日』の各地代表出演辯士としては
開原 佐竹令信　瓦房店 松尾
新藏 安東 瀨之口藤太郎
吉林 稻村峯　奉天 皆川秀孝

大滿蒙記者松浦朗氏その他續々各地からの申込者殺到し主催側でも此際なるべく多數の顏觸れを揃へ一人五分以內に時間を制限した音羅 愛國の士の出演を希望してゐる、新京としては最初のものであり當日の盛況は今から豫想されてゐる

滿洲國の對熱總司令部
本日〇〇に向け出動

熱河作戰は大体に於て終了したが、目下滿洲國軍は日本軍の背後から大軍を以て堂々前進中で此滿洲國軍の作戰は、日本軍の破竹の勢に追拂はれ又はその間隙を拔出でて後方攪亂を企てる匪賊一流の賊徒を確實に封ずるにある、而して一方熱河省北部方面にも强大なる匪軍が蟠居してゐるから、これをも擊滅し、遠く察哈爾の多倫方面に驅逐する筈である その作戰指導と、投降軍新編軍等の今後の處置等に就て、重要な直接指導の必要をするのでこゝに對熱河作戰軍總司令部は本八日新京發軍關係其の他數百名の見送裡に、特別列車で〇〇方面に出動した一行は總司令官たる張景惠上將、鄂參謀長以下幕僚約七十名、最高顧問多田少將、高級顧問佐々木大佐、作戰顧問岡田大尉、其他これに同行し、一ケ中隊の衛兵が護衛してゐる〇〇に若干滯在の後、更に〇〇に移駐する筈である因に此の出動を前にして、吉林省掃匪司令于琛澂將軍は名もめでたき延壽縣で、とつた大鹿一頭を贈つて來たが、出動する總司令部部員一同は瑞兆を祝して意氣大いに揚つた

關東軍司令官以下が 東北震災に義捐

〔錦州七日發國通〕關東軍司令部では奧羽地方の震災に對し大いに同情し、武藤軍司令官以下一同が俸給の一部を醵出して義捐金を贈る事になつた

熱河作戰の華々たる武勳に全世界を驚嘆させてゐる關東軍

英米兩名士を 鳳凰の間で 御引見

〔東京七日發國通〕天皇陛下は目下來朝中の米國海洋學者カリフォルニヤ大學教授トーマス、ボン博士同夫人並びに熱河視察に出發すべき親日家英紙デイリー、メール記者

各宮殿下 羅災民に救恤金御下賜

〔東京七日發國通〕秩父宮殿下、各皇族殿下には三陸地方の羅災者に御同情遊ばされ十六宮殿下には御救恤金一封を御下賜遊ばさるることとなり、北白川宮犬塚事務官取纏めの上本日中に內務省を經て傳達相成つた

矢野參事官歸國

領事會議參加と北滿各地視察のため來京中なりし矢野參事官は七日午後四時半發東京に向け歸任した

尾崎行雄氏 天機奉伺

〔東京七日發國通〕尾崎行雄氏は午後一時參內し天機を奉伺し同十分退去した

昨朝農安街道に 二百の匪賊團
首都警察職・四名戰死 賊の遺棄死體二十

七日朝農安街道農安近くの部落に匪賊二百現れ掠奪中との報に接した首都警察廳ではトラックに警官一ケ中隊を乘せ急派遭遇戰を演じ賊を擊退した、賊の遺棄死体三十、警官隊でも田中、中島、後藤、新堀の四名戰死負傷五名を出した

司令部幹部が、陣歿警官の中に寄せた此の同情は各方面の感激の的となつて居る

列車馬車と衝突

七日午前八時十分頃郭家店を發した第七十列車が十家堡切附近で踏切を橫斷せんとする包振雨（五〇）所有の支那馬車と衝突し馬車は破損及馬三頭を轢殺した爲に約二十分間延着した

吉凶禍福

△新京豐樂町一丁目五日高若彥氏六日午前六時十分死去

プライスロー氏を鳳凰の間で御引見遊ばされた

けふの銀相場

鈔票 金票 九七、〇〇
大洋票 金票 九四、二〇
國幣 金票 九四、二〇
大洋票 鈔票 九七、三

次回新講談豫告

目下本紙に連載中、未曾有の大好評を博しつゝある新講談は近くその完結となつたので、引續いて左の一大雄篇を選定して近日の紙上より續載する。作者は大衆文藝界の新人。その溢るゝばかりの才氣と、燃ゆるが如き情熱に依つて生れた本篇が如何に傑出してゐるかは喋々を要せぬところ。挿繪の村瀨洗舟氏は井川洗厓氏の高足たる新人。新人の文と新人の繪、兩々相俟て必ずや讀者を魅了するであらうことを確信する。乞ふ御愛讀第一日より御愛讀あらんことを。

愛慾火箭
瀧川駿作　村瀨洗舟畵

作者の言葉

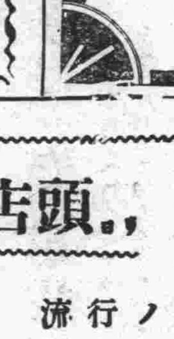
讀者の讀む大衆讀みものといふのがある。それは、大衆讀みものと銘を打ち乍ら、專門家でなければ解らない文字や、言葉を使つたり、殊更にむづかしい器具や、想像もつかない場所や、人情を扱つた小說、それを指して私はかういふのである。その實任の大半は、勿論作者にあるのだが、或る少數の讀者にもあると言へやう。つまり、餘りにも目先きの變化と奇を逐ふ結果に因する。で、私はそれ等をなるべく避けて、誰にでもわかる、面白い小說を書いて見やうと思つたのである。だが、なるべく史實を尊重して、荒木又右衛門が鍵屋の辻で三十六人も斬つたり、三十俵二人扶持の堀部安兵衛が、十年も二十年もの長い間、物見遊山同樣の仇討の旅に終始したりしないやうに心掛けたいと思つてゐる。で、この一篇『愛慾火箭』に、作者の意圖が出てゐれば幸甚である。何卒讀者諸君の御批評を偏に希望する次第である。

妾議
千歲經營中は一方ならぬ御引立に預り何御禮の言葉もありません、今度都合に依り廢業鄕里に歸國する事となりまして本日離京するに當り一々御伺ひ御禮申述る筈ですが失禮ながら紙上にて御挨拶申上ます
三月八日　舊千歲主　井上マス

運命鑑定
東洋一の稱ある豫言の大家
大日本心理學會長
泰乾先生

二月廿六日ヨリ 三月十日マデ　朝八時ヨリ 夜九時マデ
場所 新京演藝館前 常盤旅館內
贊助員 滿鐵各地方事務所長荒木章殿 新京地方事務所長殿 滿銀正隆各地支配人支店長殿
運命鑑定

非常時全滿日本人大會
日時 三月十日午後一時
場所 新京商業學校講堂
主催 新京時局後援會

輪入組合加盟店
時計貴金屬類 贈答品 豐富
森洋行
新京中央通八四 電三七八三


新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

春店頭。,
魁ノ行流
廉底ノ格價
ノ此ヅ先
中折帽
ネクタイ
ワイシャツ
ハンドバツク
日本橋通
現代號
電 2188 番

貨物自動車
海陸運送
引越荷物荷造り
迅速、親切、誠意、努力、
昌圖公司新京支店
電話園三七二七番
新京富士町五丁目十番地
本店大連市武藏町

「建築界ノ第一線ニ進出セル店」
安心シテ信頼シ得ル店
丁寧デ速ク親切ニ施工致シマス
◎特ニ建築ノ無料相談ニ應ジマス
御申ノ節ハ御一報願フレバ早速參上致シマス
建築土木ノ請負　●設計ノ製圖
施工ノ監督　●土地ノ測量
日商和成公司
新京公學校前
新京室町一丁目九番地
電話三〇六六番

凄艶紅涙双（一二五）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

「む、お部屋ざまも、こちら——」

雄馬は、お蓮の方の所在を知つて、僅かに光明を感じた——冬路の手がかりが、多少じもつくと思つたからである。

「うむ、七時雨殁落で、暫し加賀の縁者に身を寄せてゐたが、藩の動搖で、警戒がゆるんだを幸ひ此の春から大手の世話で、目黒にささやかな家を構へてをるのぢや、四五日前から折よく、其屋敷へ参つてゐるのぢや、久しぶりで、逢つてみるがよい。」

「はつ、それは何よりで厶ります、定めし、御健勝な御ことで——」

「おゝ、此頃では、すつかり以前の元氣を取り戻したやうぢやよ——だが、雄馬、それはさもかく肝腎の返答は如何致した。餘人とは違ひ、予のすゝめぢや、承服致しくれるだらうな。」

「——で、でも、手前には。」

「これ、くどいぞ、はつきり返答致せッ！」

格堂公の瞳は異樣に輝いたけれど、雄馬は、斷じて承服できぬ。

——冬路！冬路！

淑かな彼女の幻影を胸にえがいて、雄馬は憤然、口を切つた。

「殿、幼みづからの御口添へ身に餘る光榮と、有難く御受仕るべきでは厶りますが、實は、手前御き時より、下田家の一女と婚約致しをりますので——」

「たはけめッ！何を申す、予は退隱致せど、そちの主だぞ主の言葉にそむくか、この不埒者めがッ！」

「ハッ恐れ入ります。——」

だが、愈々激憤の色をかくし格堂公は、もう、雄馬の氣持などに頓着しなかつた。

つと、次へ目を配るとやをら叫んだ。

「これ、誰か控へをるか。」

「はつ。」

聲に應じて、のその、現はれたのは、意外にも、三ツ鱗五太夫！

「五太夫、奥へ参つて、先程申しつけた一事、早速、用意致すやう、申し傳へろ。」

——灯は、さもされた。

邸内は、俄然、賑々しく浮き立つた。

格堂公の廣い額にはいつか憎辯の筋も消え、皮肉な笑ひが、その口許に、かるくただよつてゐる。

——病だ、情ない御病氣のせいだ。

さう、胸に數へて、雄馬は、闘念の眼を、强ひて閉ぢた。けれど、すぐ、その底から彼女懐しさの情が、むらくと込上げる、——冬路へ申譯なさに、胸が、ひしくと痛むのだ。

——折から、奥へ通ずる襖が開いた。

珍しや、お蓮の方、相變らず端麗な姿も凛として、靜かに入つて來た。

——と、つゞいでやゝ俯向き加減、灯影に白い頂を浮かして、衣ずわりも淑かに、お蓮の方にかるく手を曳かれながら、歩みを運ぶあでやかな腰元！

雄馬は、ちらと、その姿を見るなり、視線を膝頭に落にしたまま、深い思ひに沈んだ。

——やがて、二人は座に就いた樣子。

「もし星合さま、お目出度う厶います、——ホホホ、、何をさう沈んでをられるのです暫くでしたわねえ。」

と、つゞ、お蓮の方に、さう呼びかけられ、雄馬は、あはて、うつむいたまま、飛び退き、平伏した刹那。

三月九日　木曜　甲戌　先負　危　角宿

●一白の人　進まんとして進まず相談事は後日にすべし　巳と辛と癸が吉
●二黒の人　陽氣表に現はざれども思ひ平なれば願叶ふ　乙と亥と丑が吉
●三碧の人　目先きの利かね日約束事は見合す方が勝ち　亥と壬と癸が吉
●四緑の人　自信强く勢を厭はざれば物事達成すべき日　庚と亥と癸が吉
●五黄の人　一致結合して事に當れば難事も遂行すべし　甲と戊と丑が吉
●六白の人　出先きに長居すれば人の口舌ゝ脊負ひ込む　乙と未と庚が吉
●七赤の人　控すこと闘星に當る手控へするは却て損耗　甲と未と辛が吉
●八白の人　意志さへ堅ければ不安も自然と除かるべし　乙と戊と丑が吉
●九紫の人　遲々たる運氣も次第くに伸び行く日なり　丙と壬と癸が吉

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行（毎偶數日午前十時出帆）
うらる丸　三月　十日
はるぴん丸　三月十二日
香港丸　三月十四日
ばいかる丸　三月十八日
亞米利加丸　三月二十日
うすりい丸　三月廿八日

●切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
●船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四三七番
奉天出張所　電話四〇八・番
新京出張所　電話二二一六番

東省實業株式會社駐在所
新京日本橋通
（電話二五八五番）（三一三八番）

營業科目
メタルカップ　徽章　金釦　マーク　金銀盃　記念品　其ノ他勳章略章類一式
▽專門製作△
御一報次第型錄進呈
東京　明治徽章商會　奉天出張所
奉天木曾町七ノ八（電話四三五九）東京屋

完全燃燒無煙
村上式　高熱ストーブ
關東軍經理部　滿鐵會社御採用
店舖、事務室、及工場用として、他に比類なき理想的のストーブ
金物百貨店　西脇洋行　三笠町二丁目

幕進又幕進！
特急ハト
援聲孃スービス
1933式調理
祝町二丁目ノ三二　電話三八四六番

滿洲銀行

質
貸出勉强、保管確實
流質品各種洋服オーバ其他色々
本店 大連　博多屋新京支店
新京祝町二丁目七ノ四

ミナサンの「キッスイ」の喫茶店
コーヒー　紅茶　しるこ　ぜんざい　ジャムトースパン　赤飯　各種ケーキ
迅速出前
夕朝の散策の御披勞に…は御晝食後のレモンテイー…この輕い「トースト」の御食事…
江戸前のおしるこ
朝日堂喫茶部

鞄と靴

無批判の道を行く同業界に沈默を破て立ちし大長洋行が一九三三年劈頭に投ぜし巨彈
萬人均等しく渴望の的
見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を
大長洋行製靴部　營業部
大經路第三市場二十號
外交員募集——市内要保證人二名

澤庵ノ大賣出
一、正味十七貫入　壹樽金七圓二十錢也
一、正味四貫入　壹樽金二圓七十錢也
當牧場漬ケ込ミノ澤庵モ本當ニ良イ味ガツキマシタカラドシドシ御用命ヲ願ヒマス
景品附ハ不公平ニナリマスカラ取消シマスソレ丈安價ニ致シマシタカラ御諒解ヲ願ヒマス
舊飛行場前　三宅牧場　電話二〇八八番

機械工具　煖房材料　水道用品　衛生陶器　油脂塗料
長春日本橋通六〇
東華洋行　電話三三五七番

健康の素は牛乳

品質第一
牛乳ハ三宅
健康の要素の凡てを含有するは牛乳の他にはありません
牛乳の御用は皆樣の
三宅牧場　電話二〇八八番

お茶

世帯道具、陶器類色々
三笠町二丁目
河久商店　電話三三〇四番

御待ち兼で
——御座いました——
最新流行形荷揃
各種フエルト、ゴム底
各種履物
新京吉野町二丁目一四
㊂小林履物店　電話二三四四番
輸入組合加盟店

●酒よし●味よし●女よし
東一條通　精養軒　電話二三〇五

營業種目
東亞ペイント會社製品
セメント防水劑「ウオータイト」
膠着劑菱光グリュー
日進式メタルラス類
川崎工場製鐵網類
ヤマト・コントローラー
內外洋服地並附屬品卸
新京日本橋通廿五番地（電話三七三一番）
加藤洋行新京支店
本店 天津、支店 大連、奉天、大阪、東京

1933……帝都大流行の
合服新柄！
新柄豐富入荷
●色合は茶と縞物が大歡迎……
洋服材料商　松田洋服店
新京三笠町三丁目。電話二一四二番

民刑事訴訟事件　法律顧問及鑑定
貸地貸家の管理　諸契約書の作成
辯護士　黑田實法律事務所
新京ビルデング二階十九號

機械暖房衛生工事設計請負
新京日本橋通リ七拾八番地
近藤商會新京支店　電話三三八一番
水道暖房衛生ノ修理……御用命ハゼヒ近藤商會へ
敏速ニテ實費デ致シマス

築の設計と測量は
何ンデモ親切ニ急イデ致シマス
合資會社　三共建築事務所
新京三笠町丸新旅館內　電話三九三一番
建築技師　佐藤武夫

▷南滿洲鐵道

大連發	九、〇〇	一〇、三〇	一六、三〇	二三、〇〇
周水子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
普蘭店	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瓦房店	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊岳城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蓋平	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大石橋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
湯崗子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鞍山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遼陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘇家屯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奉天着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奉天發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵嶺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
開原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昌圖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四平街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公主嶺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
范家屯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長春着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三二二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠 編輯人 松本男 印刷人 谷啓二郎

今印 白米 千葉商店 精米部 電話二四二一番

聯盟脫退の政府案 樞府も結局承認せん 脫退通告文及び理由書等も 昨日の閣議で決定

【東京八日發國通】外務省では聯盟脫退通告文及び理由書並びに之れに關する諸般の手續を本日の臨時閣議に附議し、正式決定の後樞府に御諮詢奏請の手續を取る事に決定した、倉富議長は案の重大性に鑑み、平沼副議長又は金子堅太郎氏を委員長とする九名の審査委員を指名し、これを附託する筈であるが結局委員會本會議とも全會一致で、原案を承認するものと見られる

【東京八日發國通】帝國政府は聯盟脫退の根本方針を評議決定し、外務省で脫退に關する通告書と是に附隨する一切の手續きを整備して、たが愈々完了し、本日午後四時更に臨時閣議を開き、齋藤總理以下各閣僚出席、內田外相より說明の上閣議決定し、齋藤總理より今明日中に參內して委曲上奏し、御裁可を仰ぎ樞府諮詢の手續きをなすことゝなつた

國難打開決議案 上院提案を昨日決す

【東京八日發國通】貴族院より提案豫定の國難打開決議案に關し、八日本會議で柳澤委員長の報告を聽いた上各派交涉會は白紙に返り再協議の上最後態度を決定することゝなつた、從つて豫算案通過後緊急上程が行はれるかは右報告に依り決せられる譯で注目されてゐる

二十一ケ國諮問委員會に 蘇聯は不參加を通告

【モスコー七日發國通】ソビエフト聯邦政府は聯盟の二十一ケ國諮問委員會參加招請に對し拒否回答を發したが、回答要旨左の如し

國家間の紛爭は經濟的手段に依るの外、これが處理を求められずとの根本原則に於ては、ソ政府は聯盟總會の決定に異議なきも、諮問委員會の參加國二十一ケ國中十三ケ國はソ聯邦と外交關係を維持せず、從つて、ソ聯邦に對し敵對關係にある、委員會の他の任務の一つは聯盟國並に聯盟國が相互間に於ける行動を調整することを助くるにあるがソ聯邦は委員會の大多數と交涉に入ることを得ず、從つて委員會はソ聯邦とこれ等諸國との關係を調整する使命を果すことが極めて困難な事である、更に斯る國家が勸告案に指名されたるソ聯邦の見地を實際に考慮することを得るか否かは疑はざるを得ぬ以上の事情に鑑み、政府は聯盟の決定に參加し現在の諮問委員會に參加するを得ず

【モスコー七日發國通】ソビエフト聯邦政府は日支紛爭事件に關する聯盟理事總會が新たに設置した、二十一ケ國諮問委員會に對し參加を拒否する事に決し、外務人民委員長マキシム・リドヴィノフ氏はドラモンド總長の同委員會參加招請に對し拒絕の回答電を發した

日支兩代表が ラヂオ立會ひ演說 英國放送協會から

【ロンドン七日發國通】英國放送協會は三月十一日午後九時二十分(日本時間十二日午前六時二十分)より松岡代表郭泰祺代表の兩氏によりラヂオ立會ひ演說を放送する旨發表した右順序によれば先づ松岡代表が日本の見解を披瀝し、次で郭泰祺氏が之に答へる事になつてゐる

露滿國境の接觸に ソ聯親滿的傾向

在ブラゴエ滿洲國領事館最近の狀況は開館日尚淺きに拘らず業務繁劇を極め、多忙を極めつつあり、殊にソ聯側より滿洲國內に入國する中華民國人その他一般旅客も激增してゐる、右は滿洲國の國家的秩序が整備せることを證するもので、一方ソ聯側にても滿洲國又は滿洲國人に關する限り中華民國領事の査證を認めざるの方針に基き此の點に特に注意を拂つてゐると見受けられる即ちこの親滿的傾向は露滿不可侵條約締結の前提と觀測せられ、滿洲國外交部では、この伸ばされた親善の手を非常な好意を以つて迎へんとしてゐる

南京總領事 日高二等書記官に內定

【東京八日發國通】最近歸朝したフランス大使館一等書記官日高信六郎氏は南京總領事に內定近く發令を見る

中將に進級の顏觸れ 陸軍定期異動

【東京八日發國通】陸軍定期異動は、來る十七、八日に發令される事となつたが、中將級の進級は既報の外次の如くだ

下志津陸軍飛行學校長少將 淺田彌三
步兵第十二旅團長少將 筒井正雄
參謀本部第一部長少將 古莊幹郎
第十師團司令部附少將 島永太郎
陸軍士官學校長少將 稻垣孝照
臺灣軍參謀長少將 淸水喜重
陸軍步兵學校敎育部長少將 香月淸司
陸軍自動車學校長少將 飯田恒次郎
騎兵第三旅團長少將 市瀨源助
任陸軍中將(各通)

戰跡史詩(一)

小川運平

稗史と詩史

吾は少年の頃、頻りに支那の稗史を愛讀し、呉越軍談、漢楚軍談を讀んで、三國史を最も愛讀したり、古香、小陵の門に入り、及十八史略、日本外史、元明史略、皇朝史略、を授けられ、三島中洲の門に入るや、史記、日本政記、資治通鑑を喜び、圖書館入を爲めては、宋元通鑑より、三朝事略、朔方備乘、廿二史剳記詞翰考案等に出入し、外國語學校淸語研究は、遼金元以後の史子、文學研究の方便なりき。

古香は大沼枕山の高足にして眞宗の高僧なり、作詩は其朱批を乞ひたりし爲め、松門に入りても、同窓に劣らず、中洲翁か、作詩の暇あらば讀書せよの訓誨を聞き、斷然作詩を廢する二十餘年、而も東湖の回天詩史のおもむきを愛讀し、且つ唐宋明淸より、古詩又は日本名家の詩を愛吟す、吟詩は趣味の一に算すべし、又散步課程なり、西比利亞旅行中、北淸古蹟を探めて日々、地圖を携へ、日記を書くべからず、是に於て、吾は日誌代用に、漢字羅列を始め、詩歌の格をなさずとも、一種の自家用史詩の必要を充す事とす、之か旅中の一習慣となり

詩史に詩の註解なり

東湖の三度決死猶不死の古詩其詩史を讀まざれば、意味を解せず、吾は今回三ヶ月の旅長篇古詩に、太平洋日本海航行あり、滿洲行あり、讀路行あり、朝鮮行あり、遼東行あり、新京行あり、此等は殊に推敲を要し、發表すべき者にあらず、今吾は偶然の事柄と、感興が史詩の短篇を拜解的記事とするもの、多少讀者の感興と、參考となすあるべきを思ふて、熱河陷落の報を聞きし夜、十二時過ぎ、筆を取りし談片的逸話式此篇を綴す、三月九日夜!

老虎山は三神山の一なり

二月十三日杉浦重剛天臺先生の十周年忌にして、正に吾か母上の、七周年忌なり、平素ならば、必ずや、廟に奔りて墓參すべかりし吾なから今年の旅は其意に任せず、新京客舍に、獨酌か憤と、不孝の罪の懺悔のみなるぞ、まだ悲事にこそ、十五日朝急行、九時新京を發車、又意外にも、老友石本鏆太郎君や、張本政君、趙漸山、沿道の觀望、車中古事の談に感慨に耽りし古塔篁夫岩は雲霧し見へたり雲頭笠子翁が、嗜める林檎の一箱も、心香一片の手向けのみ、墓參の詩は、餘りに悲痛なれば公表するに堪へず、大

連驛卽吟

朝去新京暮抵門、大連灣北望村、和尙山上唐城蹟、笑指當年倭寇轍

盛衰浮沈は世の常ながら、交通機關の發達と、君恩の稚有ダルニーと露國の命名したるは、新京より四百五十哩を破して廿一日に長春なる沙漠帶のきたるかな、況んや卅萬人の中當時、何人か和服にて下駄にて大連市中を散步し得るを思ひ、十萬人は日本人なり、此一大驚異、果して唯か、今日の胸を拍つて感動し來るか、是此向ふ所以なり。

爲替管理法案 至急實施する模樣

【東京八日發國通】アメリカの金融恐慌に於て對米爲替の暴騰するは疑ひなく、これが對策に官民共に苦勞してゐるが現在の逃避防止法では巧妙なる弗買ひ圓賣ひ時の防止は困難で、政府では貴族院附議中の爲替管理法を至急實施し取締りたいとの意見有力だが貴族院でもこれに同情したり至急審議を終り法案を通過させ施行上程を止め直ちに實施する模樣である

四平街の陸軍記念日

【四平街支局發】三月十日陸軍記念日に於ける當市の行事は時局に鑑み萬事差控へ、午前十一時守備隊、憲兵隊、警察署、學校生徒並に一般市民公園內忠碑に參拜招魂祭を行ひ正午より小學校講堂に於て守備隊派遣將校の時局に關する講話午後六時滿鐵倶樂部にて當市在鄉軍人分會主催の軍事映畫並に講演會を行ふ

辭職する前に 失地を恢復の要あり 蔣介石、鄭州で語る

【北平八日發國通】北上の途にある蔣介石は七日午後七時鄭州に到着し、支那記者とのインタビユに於いて語る

熱河の失敗は慚愧の極である、余は軍事委員會委員長たる責任上當然責を負つて下野すべきであるが、失地を一日でも早く奪回し、國民におわびをする迄は、これも出來ない、全國同胞も一致團結良く共に國難に赴き恢復に努力して欲しい

南京の諸新聞 徒に湯を糾彈 南京政府も亦自失

【新京八日國通】日滿兩軍の熱河討伐が意外に迅速に進捗しつつある事實に對し、南京諸紙は何れも事の豫想外に早かりしに驚き、且又政府要人が同問題に對し如何に認識の淺薄なりしかを暴露してゐる事を揭載してゐる此等の情報を綜合するに、北支要人は勿論南京要人間に於ても熱河問題に關する限り之を斷念した形である

新民報

熱河は最早我が領土に非ず、聯盟の我が代表は前線の將卒が何れも退却したるを見て各國人より嘲笑され最早大言出來ずと連袂辭職を申出た

政府は幾何の兵を熱河に置き如何なる軍事訓練を施したりや、又統率者は日本に內通せざりしや日本軍の承德入城は僅に百二十騎、之に反し湯は事前に早くも二百四十臺のトラックに私財を積み逃走したり、湯にして多少の意氣あらんか二臺のトラックにより一の日本兵に當り承德を守り得たであらう、中央は逃亡せる湯を直ちに斬るべし、湯なくて承德を恢復せしめんとするは彼を敵方の間諜とするのみ

民生報

人間には面皮あり、木樹には皮あり、老驅なりけむ、余は敵と決戰すべしと言つた、湯玉麟は僅か二十名の日本軍の來るを聽き風を食つて逃亡せり、之實に民族の恥辱なり、速に重罪に處すべし、尚熱河には數十萬の正規軍、義勇軍あるにつき蔣を至急北上せしむべし

新京日報

一百五十臺のトラックで貴重財寶を搬出し、百二十八名の敵に一省の省城を占領せられた湯に對し、政府は命令を發し斬罪に處すべし

大体以上の如くであるが、南京政府外交部長羅文幹の如きは急轉直下の敗戰を聞き殆んど氣絕せんとした程であつたと

二萬餘の支那軍 何故にかくも慘めに敗退したか

【冷口八日發國通】服部々隊は米山先遣隊奮戰の跡を綜合するに、僅か四日間の戰鬪で粉碎された學良軍の數は二萬餘に及びその主力は沈克、王樹常、丁喜春、孫殿英、于兆麟、劉汝明、更に熱河に威勢を振つてゐた鄭桂林旅軍等で、支那軍閥の巨頭萬福麟自ら采配を執つた何故にかくも慘めな敗北をしたか、その理由を探究すれば、兵卒の大部分が戰意を缺きたるに在る

吳淞砲臺守護の翁照垣 熱河を奪還して見せると威勢のいい通電

【北平八日發國通】上海事件當時吳淞砲臺を守つた翁照垣は先般來學良に招聘せられ、砲兵隊指揮官として凌源方面に活躍中の如く報ぜられてゐたが、事實は五日保定に於て第百十七師長に就任、昨夜漸く北平に入り同時に上海事件の經驗を以つて强敵に抗すとの通電を發表した、上海事件の殊勳者は北平を日本軍の侵入から救つて吳れるだらうとて救世主の如く歡迎を受け彼は此の所ウケに入つてゐる

支那も、もう悟つてよい時だらう ―我陸軍當局語る―

【東京八日發國通】熱河に於ける兵匪の掃蕩は大体一段落を告げたが、陸軍省では今後の日支關係に就き、七日夜左の如く語つた

熱河方面に於ける日滿兩軍は兵匪を掃蕩し長城の要所を占據したので熱河に於ける行動は大体一段落を告げたものと見られるが未だ今後の事は何とも斷言出來ない、北支方面の狀勢は熱河に於ける張學良の勢力が驅逐され、其の結果地盤關係等から相當波瀾を生ずるは已むを得ない事と思はれるが、我國としてはもう支那も爭亂を止め、平定して貰ひ度いものだが、昨秋滿洲事變が起つてから已に一年有余、支那が國家として少しも機能の完備して來ないのは全く他力本願の爲めである事も判り、歐洲の事は歐洲、東洋の事は東洋人同志で無くては問題を解決する事が出來ぬ事も自覺したことゝ思はれる、支那が自覺すれば、我國は支那と同盟を締結しやうとも共、聯合しやう等とも思はぬが、互に友邦として立返へれば、兩國間の意志も自ら通じて話を聞く端緖を開く事と思はれるが、それはもう悟つてもよい時だらう

蔣介石軍新鄉に 河北時局辦事處設置

【天津八日發國通】蔣介石が本日新鄉に到着するや、山西の閻錫山と會見を終了せる李烈鈞及び南京側要人も來り、新鄉に於て河北時局辦事處を設立し、八日正午に發表する事となつた、而し熱河戰を機に中央要人、蔣介石を始め宋子文、何應欽氏等が北方に移り學良の存在價値の薄くなるに引換え、中央の色彩は愈々濃厚擴大されて來た

滿洲國軍前敵總司令部 八日赤峰に進めらる

【開魯八日發國通】滿洲國軍の熱河攻略は着々豫定の如く進捗し、今や皇軍の活躍と相俟つて全省內に王道の光がかゞやき、五色旗の翻へらぬ所なきに至つたが、開魯の滿洲國軍前敵總司令部は本八日午前八時愈々開魯發赤峰に向け勇躍前進を開始した

江西の共匪討伐には 賀國光と陳誠が當る

【漢口八日發國通】蔣介石は七日正午鄭州通過、今朝北平到着の筈であり、江西の共匪討伐には賀國光と陳誠とが當ることゝなつた

京鐵管內混保大豆檢査統計

京鐵管內に於ける混保大豆二月中の檢査成績統計によれば總口數(一口一車三五二袋)一一四三中合格口數九二六不合格口數二一七である、二月は舊正前後と元宵節に依り滿洲國側の休業多く、又數回に亘る降雪もあり出廻り困難を來したる爲めと尚且奧地相場は大連市場に比し概ね不引合に因り、各地とも取引閑散の爲めに構內持込も亦著しく減じてゐる、尤も下旬より軍事特種輸送の激增により一般貨物の荷動きがひどく減殺された關係もある、吉長敦沿線は管內社線に比し出廻りは可成り旺盛であるが、これは匪賊の爲め農家の手持不安と中銀筋根棧の手放しによるものと見られてゐる、而して右二月中の檢査成績を管內受寄驛について見れば左の如きものである

受寄驛	特等	一等	二等	三等	四等	不合格
鐵嶺		一				
開原		三八	一	六	一	三
昌圖		七	四	一		
双廟子		一		五	一	一
四平街		三	一			六
郭家店		二二	一一	一		七
公主嶺		二七	一三	三	六	三
范家屯	一	三	二	三		二
新京	一〇	四〇	三	八		一五
計	二	七三	三六	四七	八	一六五

吉長敦線は左の如し

受寄驛	特等	一等	二等	三等	四等	不合格
下九臺	一	三六	二			五〇
樺皮廠		四二				二二
孤店子	一四	六〇				三二
吉林	一六	三〇	三	二		三三
蛟河		一五				一〇
敦化		三	三	五	三	四
計	三六	一九四	一七	五七	三	一四八

熱河省內に定期航空路

【錦州七日發國通】關東軍空中輸送隊は近く熱河省內に定期航を開始し、通遼、開魯、赤峰、承德、平泉、凌源、朝陽、錦州間の循環航空路を設する事となつた

爲替貯金の取扱高 二月は一月より減少

新京郵便局二月中爲替貯金取扱數は爲替受入六百七十九口の二十一萬七千四百七十五圓二十錢、拂出千九百四十三口七萬七千三百九十二圓九錢、貯金受入四千三百六十一口十二萬九千七百三十四圓九十九錢、拂出一千八百二十八口一萬六百三十二圓二十六錢、振替貯金受入四千五百二十七口三十一萬二千八百二十四圓八十一錢拂出二百三十八口二萬二千七百六十三圓五十六錢で、一月に比較して爲替四十口金額約一萬圓、貯金百口の約一萬圓の減少を來してゐる、これは昨年末から代金引替小包に對し急激に相當多額の稅金を課せつゝある爲、割合に課稅安價な鐵道便を利用する關係だらうと見られてゐる、最近一日の代引小包扱數は約二百個內外程度である

人事往來

▲袁金凱氏(參議)八日午前九時半南行
▲泊一等主計正(陸軍經理學校敎官)同上

氣溫と天氣

けふの天氣南の風晴後曇る
昨日の氣溫最高零下九度一分 低零下二十四度

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一七片八分七
同遠限 一七片一六分一五
紐育銀塊 二九仙二分一
孟買銀塊
米英爲替 三元四仙二分一
日英爲替 一志二片三分一
米支爲替 休
スチール株
アナコンダ株
●印綿
ベンゴール 一六〇留比
ブローチ 一八九留比
オムーラ 一五九留比

各地市場

▲上海標金
寄値 六八一兩〇 六八八兩〇
高値 六九五兩五 六九〇兩〇
安値 六七八兩五 六〇二・〇
本寄 六八七兩〇 六九三・〇
引値 六八八兩五 六九六・〇

▲上海日本向
第一回 七六兩二五一 七六兩〇〇〇
第二回 七六兩〇〇〇 七五兩二三分一
第三回 七五兩〇〇〇 七四兩二三分一

▲上海倫敦向
賣値 一志 八片一六分一三
買値 一志 八片四分三

▲上海紐育向
賣値 三三弗〇〇
買値 三三弗八分一

▲大連特産
●大豆 寄 引
二月限 四六六 四九三
四月限 四八八 四九一
五月限 四九三 四九五
六月限 四九七 五〇〇
七月限 五〇五 五〇四
●豆粕
現物 一三五 一三三五
三月限 一三一〇 一三一〇
四月限 一三四〇 一三五〇
五月限 一三五〇 一三六〇
●豆油
●高粱

▲哈爾賓特産
●大豆
●小麥

▲カルカツタ麻袋

▲大阪三品

▲大阪棉花

▲大阪期米

▲仁川期米

▲神戶豆粕

▲橫濱生糸 休

新京市況

高粱 現物
入豆 現物 出來高 八車 不出來
錢鈔現物
鈔票對金票
大洋對金票
國幣對金票
大洋對鈔票

今夏の水飢饉に 今から氣を病む當局
第四水源地が完成しても まだ安心はならぬ

新京の人口の激增につれてその日の生活に最も必要な肝腎の飲料水が兎かく不足勝ちのために各方面に非難も少くないが、滿鐵地方事務所

「水道」係當局の意嚮を聽けば現在附屬地内の給水は毎日三千五六百トン、滿鐵のみでは足らず滿洲國側からその中の六百トンばかり支給を受けてゐるが現狀ではこれ以上は不可能な狀態にある、最も第四水源地が來る、五六月に完成するとも約二千トンの湧水が得られる譯で幾分は緩和されるであらうといつてゐる現在一般の非難は給水量の不足から水壓が減少し、氷結を招き易い結果で

「高所」方面においては殊に著しいものがあるが、人の激增はこの上更に幾何の程度に上るか豫想つかず、前記第四水源地が完成されても、それで充分とはいへず、當局でも更に今夏の給水難について今から頭を惱ましてゐる

可憐小學六年生が 血書の慰問狀
憲兵隊員を感奮興起さす 開原校では慰問金

酷寒零下三十度を下る滿洲で御國のために奮戰する皇軍にいたく同情し眞心こめた慰問金品が續々關係方面の手を通じ新京憲兵隊に到着してゐるが中にも可憐な小學兒童が、教師の話し、目前に見る皇軍の目覺しい奮鬪に眞に愛國に燃え慰問金を届け、又は指を切り感激の血書を送るなど涙ぐましい美擧の數々があつた、開原小學校四年生五十二名は皇軍兵士の慰問をはかるため逸て學用品を節約し貯金をなし金十圓十三錢になつたのでこれを七日四平街憲兵分隊に届けた、又同校六年生增谷恭吾少年は諸先生の講話及新聞紙で皇軍の涙ぐましい奮鬪に感激し、少指を切り左の如き感謝激文を半紙二枚に書きつらね、戰地に送つて下さいと同樣に同分隊に届けた、同隊では直に八日新京憲兵隊本部に移送して來たが、見るものをして感涙せしめた

血書

奮鬪ヲ祈ル、バンザイ此の寒い滿洲に夜晝の差別なく御働きになる兵隊さん、方に小生心から健康と成功を祈る

開原小學校六年生 增谷恭吾

キタピタルの ダンサー達が
皇軍に慰金金贈呈

皇軍の勞苦を慮ふため、新京憲兵隊を通じ、第一線に活躍する部隊へ慰問金品或は感謝狀等續々集りつゝあるが五日サロンモナミおよびダンスホールキャピタルの經營者上野由人氏はモナミの女給キャピタルのダンサーが醵金した金百圓にキャピタルより金百圓を添へ熱河討伐隊慰問資に加へられたしと申出たが、更に新京警備隊へとしてキャラメル六百箇を寄贈し同隊では喜んで之を受領し早速收納の手續を執り好意を傳へることゝなつたと、之に就いてモナミの女給達は、彼女等も自分達が毎日安心して生活が出來ることは、ひとへに皇軍の賜でありますこれに對し幾分なりとお禮の微意を表したい考へでしたまでのことですと語つてゐた

南熱河都山縣の異風
住民は質朴だが とても慘忍性を持つ
屍体を食膳に上す奇習

【東林子七日發國通】南熱河都山縣地方(長城の東北方に面する)の住民は質朴であるが文化が極めて低く、大部分の男は辮髮で、女は殆ど全部纏足をして居る、農業を本業とし、芥子の栽培はあまりやつて居ないが、目立つのは牧畜で、住民は貯蓄の觀念なく尤も蓄財あれば盜匪に襲はれるのであるから、彼等の住居も服裝も乞食の樣に見すぼらしい、性質は素朴であるが、慘忍性を帶びて、我軍討伐後敗亂せる敵の遺棄死体は彼等の掠奪に遭ひ、屍体は皮を剝がれて忽ち食膳に上されて居る又此地方では奇妙な風習が流行し、住民の半數は咽喉の邊りに、へうたんの如きなこぶをぶら下げてゐるでグロテスクだ、物資は天津方面から石油、ローソク、稀れに雜貨物が來るが、今は全然杜絕されこれが補給は近く凌源方面からなされて居る、日本軍に對しては全然信頼し大いに歡迎の意を表して居る

來る十五日 高女の卒業式

新京高等女學校では來る十五日午前十時同校講堂で第六回卒業證書授與式を擧行に決し夫々案内狀を發したが式次は左の如くである

一、國歌
二、勅語奉讀
三、唱歌(奉答歌)
四、卒業證書授與
五、賞狀賞品授與
六、學校長式辭
七、總裁告辭
八、來賓祝辭
九、在校生代表送辭
一〇、卒業生總代答辭
一一、卒業生保護者挨拶
一二、唱歌(卒業式) 畢

○○部隊先遣隊 第二段の構に
疲勞の色も見せず

【赤峰六日發國通】二十三日滿遼出發以來○○部隊先遣隊は僅か七日間にして百二十餘里を突破し赤峰に入城、古今戰鬪史上劃期的超スピード戰蹟を殘したが、此わが將兵の辛苦は又筆紙に盡し難く今日六日迄に殆ど集結を終つた○○部隊は此暫く英氣を養ひ第二段の活動に備へつゝあるが、第一期作戰とも云ふべき所謂赤峰入城迄の將兵の活動に就いても、對敵諸條件に於て滿洲事件勃發以來何の戰鬪よりも不利でありながら犧牲者も豫想外に少數に止んば事は特筆すべきであ、只遺憾な事は凍傷患者の意外に多かつた事で其の理由としては

一、交通機關不備にして變際的酷寒の襲擊に惱まれたこと
二、村落所在地内迫と追及の根本作戰上兵士の服裝を出來る限りの範圍に於て輕裝ならしめたこと
三、南國の健兒は寒氣に對する豫備知識少く活動前後の凍傷豫防觀念等にも遺憾な點があつたこと

等を擧げ得べく、此の點萬已むなき犧牲であつた、然し士氣益々旺盛にして屈する色なく天晴れ南國健兒の勇猛果敢なる行動はよく所期の作戰通り稀有の超スピードで、殆ど戰はずして第一作戰たる赤峰入城を果し得た、犧牲者も以て瞑するに足るべく今後の戰鬪は一段と洗練された活動振りを見る事が出來る而して第二期の治安維持並に警備任務を果す上に於て與ふる處大なるものがあつた、因に第一期作戰即ち赤峰入城迄の凍傷患者重患百餘名、輕患三百餘名に達した

寶庫北滿の 門戶を開かん
關東軍司令部 鈴木顧問談

北滿は未だ充分開放されてゐない世界注視の寶庫であります、曾て「帝國ロシア」が一八九八年から一九〇二年に亘つて東支鐵道を此處に敷設し之かいら開發に手を染めまして以來頓に此の寶庫を繞つて熾烈なる經濟戰が展開されたのであります即ち日露戰爭後日、英、米、佛、獨等が率先して資本の投下を試み就中「ロシア」は南滿に於ける日本と相對峙して絕對的勢力を扶植し居つたのであります

然るに歐洲大戰に引續いて國内の大革命に遭遇致しました「ロシア」は再び昨日までの對外的勢力を保ち得なくなり玆に彼なくも亦列國の意經を此の北滿に集めたのであります

然るに默つて居れぬのが傘々焦慮しつゝあつた支那の所謂國權回收熱であります、即ち一九二七年此の機を逸すべからずとして北滿に於ける「ロシア」の既得權益を意の儘に蹂躪し盡したのであります

一方又列國に於きましても拱手傍觀し得るべきではありませぬ、英、米、佛、獨は素より丁抹、瑞典等も漸く此の地に資本的勢力を植へ付け商權の擴張を圖り北滿の大豆、小麥、豆油は遠く「ロッテルダム」「ハンブルグ」「アムステルダム」「桑港」等に輸出され歐米雜貨及石油機械類は盛んに輸入される氣運に向つたのであります

然るに張學良の國權回收を目的とする排外思想は啻に露國を屈つたのみを以て滿足せず進んで諸外國の商權の伸張をも抑壓すべく苦心を廻らし或は不當なる課稅をなし或は其の治外法權を享有する外國人の私權に對しても不法なる壓迫を加へ、各國の商取引は著しく阻害されるに至り何れも其の投下資本に對する危惧の念なき能はざるに至つたのであります

然るに世界興亡史上特筆すべき一九三二年に至つて滿洲國の建國を見たのであります

然も滿洲國は東亞に於ける戰禍を根絕するは素より進んで世界の恒久的平和に寄與せんが爲に其の擁する寶庫をして敢然之を列國の自由開發に任さうと云ふのであります、蓋し其の建國に當つて門戶開放機會均等主義を中外に宣明しましたことは國際正義の本流に棹す意味に於て實に痛快事と云ふべきであります

斯かる輝やかしき滿洲國の實在に對して列國は尙承認、不承認を云々し居るのでありますが彼の舊政權時代の不當、不法は玆に全く一掃せられて其の額六億四千五百萬圓に上る歐米諸國の既投下資本も安全にして且充分なる活動を許し得るに至つた譯なのであります

今これ等歐米資本の主なるものについて見ますと(單位千圓)

國別	商工業	金融	其の他	計
ソウエート	四〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	五三五,〇〇〇	五九〇,〇〇〇
英國	一七,三五〇	五,〇一〇		二二,三六〇
米國	八,四五〇	八,〇〇〇		一六,四五〇
佛獨其の他				一六,三五〇
合計				六四五,一六〇

ソウエートの投資は五億九千萬圓であつて、其のうち東支鐵道に對する投資は四億五千萬圓に上ります ソウエートの投資を除いては五千五百十六萬圓のうち英米の投資が七割を占めることゝなり、佛、獨その他を合計して其の約半分に當る割合であります、而してこれ等の投資は從來は商業及金融を中心としたのでありますが、今後は産業の諸分野に於ても有望な前途が開かれて來たのでありますから、

今や諸國は新規資本の投下の爲に續々と北滿に向つて調査計畫しつゝある狀態を見る次第であります

如斯して北滿の寶庫が、滿洲國の建國を轉機として充分に世界に開放されようとする顯著な事實こそは、やがて國際聯盟諸國の中にも我が眞意を知り滿洲の建國を讃へる要因となるべきもので、眞實世界人類の福祉を增進する所以であることを吾人は信じ、疑はぬのであります

川野參謀が 貴族になつた話し
―陣中ユーモア―

【承德七日發國通】川原挺身隊の川野參謀が余(大熊記者)を見つけて凍傷でグルグル繃帶した顏に笑を浮べ乍ら

「おい君面白い話があるぜ」

「俺は熱河に來てから大もてさ、俺は急に貴族樣になつちやつたんだよ」と言ふ

「へえーそれは又どうした譯なんです」と問へば「實は熱河に入つてから到る處で氣味惡い程、敬意を表せられるので自分乍ら不審でならなかつたのさ、處が今朝蒙古人が俺の處にやつて來て又復慇懃を極める、そこで色々聞いて見たんだよ、そしたら蒙古人が言ふじやないか、しかも至極眞顏で「大人は名前に郎の字がつくから日本の貴族に相違ない」さね、蒙古では王子達は皆二郎三郎四郎と言ふ風に必ず郎の字をつける習慣なんださうだ兵隊が貴族の所以判つたかだ川野二郎なんて有りふれた安つぽい樣な名前でも、來る所に來れば押しも押されもせぬ貴族樣としての値打ちが出るさ言ふもんだハアハー」

さんだすさまじい假仕立の貴族樣は繃帶の顏中を口にして朗らかに豪傑笑ひした、明日をも知らぬ殺風景な戰場にも輕いユーモアが飛ぶ心にくいまでの餘裕綽々振りだ

東林子は 溫泉地
長城を眺めては 將兵口惜しがる

【東林子八日發國通】米山先遣部隊の宿營地たる東林子はその名の如く溫泉湧出し、雄大な天然の風光に惠まれて氣持がよい、兵隊さん達は暇を見ては露天風呂の中で溫まりながら長城を眺めて「あの關門を越えれば好良なやつつける事が出來るのだが……」と口惜しがつてゐる

時代に順應し 券番制度實施
藝妓の收入は變らず

新京附屬地の料理店は滿洲事變以來俄に增加し現在では三十軒の多きに達した、ため既に組合組織では充分に料亭、置屋との關係がたもたれないため、愈よ券番組織と改めることになり、目下これが準備を進めてゐる、同券番の組織もとゝもに置屋業の許可願が新京署に續々届けられてゐる、同署では置屋規定に就き大連方面から規則をとり寄せ研究中であつたが、大体左の如くに定められることゝなつた、藝妓との收入無借金の場合は花代の六割とし、この内から食費一ケ月分十五圓を支出する前借二千五百以下の場合は花代の六割、内前借金の利息一分五厘を差引かれるものである、この結果は現在の料亭における藝妓との收入に比し大差ないものである ●

熱河住民狂喜して 皇軍に感謝す
朝陽紅卍會紅十字會感謝電

皇軍の破竹の勢ひを以てする熱河の掃匪と共に熱河省民は湯玉麟の暴虐より救出され、各地住民は老若男女を問はず歡喜の涙を流して皇軍を歡迎し、併せて衷心より謝意を表し、各地方代表は關東軍司令官に對し謝辭を述べてゐるが朝陽紅卍字會及紅十字會代表は左の如き感謝電を寄せて來た

熱河軍の蹂躪を受け苦痛訴ふるところなく日本軍越境以來各地は平安に明し困苦立所に消ゆ、共に昇平を喜ぶ、又兵站、警備、憲兵の各司令官、宣撫指導各員は人民を愛する事我身の如く均しく王道の政治を受く當地にある貴軍隊より貴司令官の名を以つて多大の救恤品を賜り本會の手を通じ窮民に施さる、かゝる恩澤に浴し誠に感激に堪えず 滿洲國萬歲 關東軍萬歲 朝陽紅卍字會 紅十字會代表

古北口放棄 旦夕の間に迫る
長瀨部隊の勇躍猛進

【承德七日發國通】古北口方面の敵を擊退すべく猛進中の長瀨部隊は强行又强行軍を續け今夕或は明八日朝までには敵は古北口を放棄するの已むなきに至るであらう

ハイラルの 蒙古指導訓練 所開所

【ハイラル八日發國通】本日午前十時蒙古指導委員訓練所開所式を行ふ、レオク族より來れる優秀なる蒙古青年五十名、來賓として日本軍高波司令官、梁所長、橋本特務機關長各族長外多數、梁所長の挨拶來賓の演說、生徒代表の挨拶及び經過報告ありて十一時解散す

大蒙古建設の氣堂に溢れ、王道主義は前蒙古より更に西方に及ぶの日を想はしむ、尙右訓練所は明日より直ちに開始する事となつた

吉林全省に於る 滿洲國軍の 警備狀態

吉林省内における滿洲國軍の警備狀態は大体左の如くである。

吉林警備步兵第一旅長 劉寶麟 樺樹
同第二旅長 李文炳 濛江
同第三旅長 朱容 廷吉
同第七旅長 白文清 卜端子
同第八旅長 陳德才 双城
同騎兵第一旅長 劉崑 農安
同第二旅長 李毓久 佳木斯
同第三旅長 楊秉藻 賓清
吉林警備步兵第十二團長 任玉和 樺甸
同第十三團長 傅澤民 双陽
同第十四團長 趙廣禮 烏拉
吉林游擊隊第一支隊長 郭寶山 梨樹鎮
同第二支隊長 席武雄 松花江站
同第三支隊長 王樹棠 敦化
吉林剿匪司令 于深徵 ハルビン
吉林國道守備司令部 邢士廉 新京
吉林憲兵隊長 張祥廉 吉林
步兵獨立營長 關永庫 敦化
騎兵獨立營長 唐玉衡 敦化
砲兵第一營長 羅綿 吉林
砲兵第二營長 陶春貴 吉林
鐵甲車隊長 武中韜 吉林
軍樂隊長 張毅 吉林
吉林無線電信隊長 馬樹棠 吉林
吉林無線電台長 馬樹棠 吉林
新京無線電台長 馬樹棠 新京
陸軍測量局長 富聖廉 新京
軍械廠兼後辨處主任 李鸞徵 吉林
陸軍醫院長 孫伯彝 新京

遊動警察隊員 遭遇戰の詳報

警務司發表=首都警察隊は秋山總副隊長以下百十名は乘馬隊を編成し去る四日から二泊三日の豫定で匪賊討伐の目的で萬寶山附近に出動したが六日警務司宛て、警察署管内二十里堡分駐の東南方約五支里の小東屯に混江、天助、天帮、公平等頭目の率ゆる匪賊約二百前日德惠縣境から潜入しありとの報告を受け、萬寶山警察署員十七名を先導とし首都警察隊は六日午前九時同地に向つた、同日午後四時の情報には討伐隊は農安東南約十軒の伊通河右岸で賊團に遭遇對戰中、速かに增援を乞ふとあり警務司長は直に遊動警察隊に救援を命じ遊動警察隊の澤田隊長以下約八十名は裝甲自動車二台トラック二台で午後六時寬城子を出發一十里堡に急行した、一方首都警察隊は賊と對峙し暮を見て午後七時突擊を敢行し賊を北方に擊退した、此戰鬪で賊は死者傷者十余を遺棄し、我に損害は無かつた、其の救援隊から七日午後三時半警務司の情報に

一、遊動警察隊は午後〇時二〇分農安東方二十里堡北方劉洒房子部落に於て約百三十名の賊と遭遇一時間程交戰したり此の戰鬪に於て賊は死者約三十、殘り全部負傷の大損害を與へたが我が遊動隊も亦田中巡官、中島後衞、新堀警士即死、鈴木巡官、桑原警長、加藤、東本警士負傷銃創を受けたり

二、同隊は目下農安に於てガソリン補給の上直に歸隊する如く激戰を演じ遂に左記殉職者を出した

戰死者

巡官 田中與之吉(三一)歩軍 原籍 茨城縣那珂郡石崎村日大九一
警士 中島與次郎(三四)歩伍動上 原籍 福井縣坂井郡東郷村大年第十二號ノ四
警士 新堀榮(二七)歩上下適 原籍 茨城縣那珂郡堅倉村紫高八四二
警士 後藤秀雄(二六)東洋大學卒 原籍 靜岡縣磐田郡西貝塚一四四一

負傷

巡官 鈴木關治 右前膊貫通
警士 加藤直八郎 頭部貫通
同 桑原正治 右手 同
同 東本德 左足貫通銃創

殉職遊動隊員 昨日葬儀

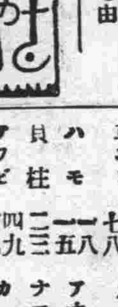
七日午前十一時半頃農安街道萬寶山南二十里堡で匪賊掃討中戰死した寬城子遊動警察隊員茨城縣人田中與三吉、靜岡縣人後藤秀雄、福井縣人、中島與二郎、茨城縣人新堀榮四氏の告別式は八日午後三時、寬城子同隊内で嚴肅に執行された

會葬御禮に來社

殉職二警官葬儀に本社の會葬ならびに花環贈供に對し萬山新京署長は八日今井警部殘予警部補を代理として謝意を表する處あつた

同情週間寄附金の相談

滿洲國協和會では九日午後五時半からヤマトホテルにおいて過般實施した同情週間の結果及び寄附金の處分につき關係者を招き協議する由



▲赤玉のアクミ相當なものですスウーちやんと名のつく人を十人程もつて手際上手にあやつつてゐるです▲そんな事なら知らず色男我一人とウヌボレせつせとこんき良く通つてる鼻下長連今に泣くんでありますヤレ〳〵▲三笠のキヌ千末だは若いがなか〳〵たつしやなもの拔目のないサービスでノウサツしてゐる▲ポプラのヒロ子恐ろしい程イダイな体格をもつてゐる、これから解氷期と共に色々の事業を開始する由でその時は地ならしにローラかわりにころんでゐ……てな風で口の惡いスズメのさゝやきのママなんさうるさいこと

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	六七	氷鯛	五八
チヌ鯛	三四	連子鯛	四一 三六
アマ鯛	四八 二六	マグロ	一〇
ブリ	三五	サバ	一四
カレイ	九六	ヒラメ	二七 二三
ボラ	一九 一七	キス	二一 二〇
ハゲ	二六 二〇	オコゼ	一四 五
ムツ	一三 八	サヨリ	五〇
タコ	一七 一三	甲イカ	六〇 一一
水イカ	一六	イセエビ	八七 六〇
車エビ	八七 七八	カニ	七三 六七
ハモ	一八 一五	アナゴ	一五 一一
貝柱	二三	ナマコ	二〇
アワビ	四九 三七	カキ	三〇
シヤミ	六	カマボコ	一八
チクワ	一〇	星カレイ	三三
帆立貝	八	カニ身	五四 二四

滿洲唯一の高級美術
徽章 メダル 勳章
專門製造
滿洲國國務院需用處 執政府 指定

新京日本橋通六三番地・電話三・四二二番
金華號支店

純和風ハリウツド式
フリージヤ美容室
新京中央通大阪屋號向横町
新京常盤町一丁目六番地二

撫順炭 本溪湖炭 各種炭販賣
滿鐵指定石炭商 新泰洋行
新京祝町四 電話二二九七番

よい菓子を安心して買へる店

書壇超人の 觀たる滿洲國風景

登上―人物―胸像―隨筆 (一)

玉堂氏「富士」大和魂の發露

執筆畫人 小鹽美州

尖端を歩む美州小鹽氏は畫人又文士を以て表自は天下を任じてゐる、其貫禄家と言ふより大政治家か學者か鬪士か或家中心主義の貴公子的君子肌。即ち個性で口も八丁手も八丁從横無盡で、ない物は金ばかり、其の處は貧棒政治家とまつたく異にする風流特有雅稚があつて面白い、其の美州畫伯は政治家としては原敬內閣時代に某政治の事實上文書策戰上に於ける一方の幹事長を勤めた其れが歲丈才美少年彼正金敵川崎助太郎を破つた其れ以來土地の名物男となり原敬とも文通してゐた又後藤新平を語り氏が張作霖と會見すれば美州又後日單獨張作霖に握手してゐる落口ライオン首相には一ケ月かかつてライオンの繪を描いて届けてライオン首相の尊稱を送り届けた晩年の犬養首相とも知愚もあり清浦奎吾などには今尙愛され學者筋では獨り國府犀東を人物的譽め久保天隨を說き常に兩人で詩畫の旅にも出かける美術家として道は竹內栖鳳を美術家として道儀的な處あり、過去今日の態度を踏り院展橫山大觀イタリー美術全權といふ全國一切の新聞に書き立てた當時華やかな參は美州氏の筆誅を以て異變となり、にせ者なり痛論なしたのは彼美州氏なり、帝展事件情實暴露旨々と改造言々の火の手の元じめも氏である新任早々美術院長正木直彥氏に向つてメ切後受け付けたる、作品の責任問題に就き警告を發する、今日迄の過去を數へ上げれば數限りなく全く天下偉人の胸像餅きの男であり數度支那に漫遊せし事もあり今回朝鮮美術界風景視察途上滿洲に來り建國記念日に參加のため入京した本社は特に

此の畫人年歲末だ三十餘歲の美州氏の見たスピート的な滿洲國の風景を求めた編輯長の松本さんから何か滿洲國の印象を書いて見てくれないかとの事で早々何か書かうとして貫ろをふと思ふたが貴の成明待る丈けの文章素養もなく建國受祭當日着早々風邪にかかり昨日迄病床にあり一巡りした滿洲里風景を斷序的に書いて見ましたが登上人物に對し失敬する點は先きに斷り願つて置きます

×××

建國一週年三月一日記念日の滿洲天地は日本晴れがしていた、いや世界の平和を物語る目出たい春陽のきざしは白雪の中に一輪の紅梅すら床にカ強く咲き誇つている、すべて目の前に見せつけられる物皆「天地皆春」此の大きな印象を語つて見たい

×××

荒木陸相から建國一週年の滿洲國執政府の送りものとして日本の名畫家川合玉堂氏に命じて富士の大作を送り届けて來た其の富士は、世界の靈神美術的に見た靈山此の山が然も西から東へく續いていろ山脈の中心に聳へ世界を眼下に見下ろしてゐるのが富士山である靈的にも此の富士山の偉大は物語る程味がある、日本魂である其の盤脈が連る日本全島は地勢上の天地から割り出しても地勢的にも人間的にも强く、まして其の地上の大和民族の「魂」は此々にあり世界に一指を疑べき物あらず或る日國府犀東氏曰く

×××

日本の山脈は鳥をこへて南にタスカロラ海溝をつくつて居りますアルプスの樣に從になるものは例外なりと稱しそれがためタスカロラ海床があつて暖寒二流の渦のため米國はかかる直航は出來ないと迄言ふていろし

×××

此の日本の富士は全く日本の代表であり武藏野平野をひかへ堂々構成をなしてゐる此の大自然の雄大さを誇る富士でない吾等日本の誇りである此の富士山＝此の山此靈山を建國一週年記念日に日本から送り物にしたのは大きな送り物だ其れを見つけた荒木陸相こそ傑物であり又腦裡がいかに明敏かが小論をまだずして時局多端の今日世界に靈動をあたへるであらう

×××

ついて一言申して置くが山と言ば日本の山脈程強い物は全く世界になく歐洲邊りや支那に山はあれども底力のない全く箱庭的の物許りで床間盃石と同然、自然其れに住む人間力も又同然たり大和魂の發露は此の自然の日本の地勢岩上に座して太公望糸垂釣の修養と同じく此の大和魂修養み建國有祥の同時から植つけられた其の個性が今日の大和魂なり富士の靈山こそ又「大和魂なり」富士と大和魂もこの邊で止めて置く

×××

川合玉堂氏は其の靈山姿の意氣を知つてか執政府へ届けし富士の峯は白雪いただき空は日本晴れがして澄切つてゐる處に一點の曇りもない。

×××

聯盟と何ぞや聯盟妖雲も晴れるところか富士の靈山悠然として聳へさうした處に此の世界の大平和を物を語り又滿洲里原野の平和物語つたものである白雪の山頂よりほのかに陽の光りをあらわして其の偉力、いや日本か聯盟に呼びかけた大きな世界を照す太陽の光りであり平和な村平和な町平和な滿洲天地皆春此大自然の白雪につつまれ世界の塵一つ見出さぬ全くの樂土であるかうして東洋神秀富士と大滿洲國がかたくく結びつけられて此うして建國第一周年の春は迎へられたものであるふ滿洲里妖雲晴れて初日の出

松花江便り (四)

吉林游擊第二支隊長 日野武雄

滿洲國軍隊は曾て綠林の生れで北滿の天地を馳せ廻り高粱畑に出沒して橫行殘虐人道上見逃すべからざる馬賊の歸順せる者を持つて組織改編したものが多い、日本人教官は其の內に僅かの者が居つて其の識を良く守り四面銃劍を持つて圍まれたる此れ等數千名の無智文盲にして心荒び稍もすれば求の大なるを顧みとして武力暴力的の態度に出でんとするを良く鑑へ良く指導して給を慈母が愛兒に諭すが如くに導き敎へて常に從容自若として一重に彼等を將來有爲なる滿洲國軍人たらしめ延いては東洋に於ける所の代表的軍隊を形造る可く獻身的の努力を日々續けて居る。其の熱さ意氣とは此れ一に一天萬丈の皇　を思ふの念と皇國精神の表るゝ所であつて其の赤誠の澄る、所鬼を泣かしめるものがある。彼等敎官は內地に於ては在鄕軍人として各自の營業に從事する側ら農村に都市にカ强き指導者であつたのである、此處東洋の一角に一度び燦然として滿洲國が生れ出るや彼等は親兄弟に別れ其の職を捨て見を軍籍に置く者としての道を滿蒙の空に求めて有つた。然して再び日本軍部の意志を繼ぐ者として老骨さへもが腰に劍を帶びて渡滿して來たのである。されば彼等の行動の示す處村落に病人が出來れば急ぎ衞生隊を赴かしめて手厚い看護を施し、火災起れば自ら此れに飛び入りて之れを防ぎさては貧家を見舞ふて慰め農業に敎育に凡ゆる方面に充分ならずとは云へ身を指導者良き相談相手となつて居る。今は曾て鬼畜の如く嫌はれた兵隊はもとより、住民の彼等を見る事子の慈父に從ふが如くで赤い火の手に追はれて國を失ひニヒリズムに落ち入として居る白露人でさへ彼等に言葉を與へられる事を無上の光榮として居る。其れ指導とは威壓に必ずして同胞のものであり、此れ人類愛にして何んであらう吾が敎官の信ずる處は東洋に於ける一等國民として彼等の上に垂れもつて彼等を指導し共に手を結び東洋の平和を永遠に維持するにある。顧ふならば此の無限廣漠たる沃野を開拓に開墾に來る吾が同胞等が小人數はしても是くも偉大なる正義と人道の信念の元に立つて築き上げた努力の跡を無くせん、ことを一垂に希ふものである。

Resturant & Cafe
根箱 レストラン
新京大和通り　TEL 3419(呼)

野菜相場

新京市場小賣相場表 三月八日 「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八四	蓬蓮草 大連物	一一一〇
サツマ芋	四三	里芋	一〇〇八
山芋	一〇〇八	赤芋 內地	一五
ツクネ芋 內地	二〇一五	牛蒡	〇五〇四
蓮根	一六一四	白大根「大連」	〇八〇六
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇八〇九	人參	〇三〇三
生姜	二〇一二	ウド	三〇二〇
ワサビ一	五〇六〇	內地葱	一〇〇八
玉菜	〇五〇四	カブラ 大小	一〇
馬鈴薯	〇三〇二	水菜 同	〇八
ユリネ	五〇二五	ミツ葉 大小	二〇〇五
セリ內地	一五	ワケギ 內地	〇五
春菊	〇三	胡瓜 內地	一二〇五
林檎 大連	一三一〇	內地梨	二五一八
入津梨	一五一二	ミカン	一五一二
チブルー	四〇	西瓜	二〇

新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

博多 鍋料理
水炊。はまなべ。ねぎま 白菜なべ。あんこなべ
鯛茶
とゞろき
電話三九三六番

急告
家屋讓渡ス
店舗向二階建上下六十坪(上下水道付)(但修理費金四千圓見當) 姓名在社

店員募集
年齢十七歳ヨリ二十三歳迄
小學校卒業程度以上
將來商業志望スル方
市內ニ保證人ヲ要ス
希望者ハ履歴書送附相成度
電話照會ハ御斷リ
新京日本橋通り六十三
金華號支店
電話三八四三番

營業案內
軍隊兵器手入材料揮發油、酒精、染料、膠
日本ペイント塗料カーバイトシケラック
兵器及工業用諸油工業用品、各種ウエス
陸軍諸官衙御用達
田中商會新京支店
富士町三丁目十一番地 電話長三四五八番
本店 旅順乃木町三丁目
支店 奉天平安通十一番地

Ishida Zaimokuten
警察　郵便局　蓬莱町　石田材木店
出張所・城內五馬路大通西角
製材及原木…
石田材木店
電話二八八一番

產婆 派出婦
東京に於て二十年來の体驗親切と丁寧の產婆
日滿家政婦人會
日滿產院
內務省免許
產婆 鳥山鶴子
新京祝町五ノ一四番地
(姙產婦入院應需)
(看護婦家政婦希望者多忙御出下さい)
派出婦最底の料金と身元確實の者御申込次第速次派出致します

食料品と雜貨は
市場の日華洋行へ
配達は飛行式
電話三三四三 三八二五番

「カメラ」と「ガクブチ」は
乾寫眞舘販賣部を
初心者ニハ御電話次第
御指導ニ參上致シマス
新京吉野町二丁目　電話二三九〇

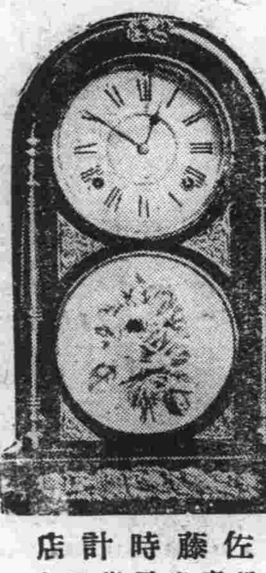
僅かの電氣料で御飯が美味しく炊ける
文化『かまど』と保熱釜
萬能七輪・
電氣コタツ
其他電熱器各種多數入荷
電氣の店
日本橋通
和登洋行
電話二〇四〇番

斷然フレッシユで・
流行の魁けをする
ネクタイ、ワイシヤツ
中折帽子、鳥打帽
既製洋服、既製靴
新京日本橋通
平本洋行
電話二一五八番

高級
ラヂオ
テレビアン受信機
五球式 七球式 八球式
型錄進呈
和登商行ラヂオ部
新京中央通一〇

春向半衿紐類
縫糸と小間物
豐富着荷
半衿 帶糸 縫糸 紐類 小間物
京染取次ぎを初めました御用命は御電話で
新京吉野町二
㋕商店
電話三〇九二番

KINTAI YOKO
サツポロ
新ビール
到着
新京
金泰洋行



貴金屬及寶石
時計販賣並修理
佐藤時計店
新京東二條通り

自動車部擴張廣告
自動車は新車揃ひの富士屋自動車部
電話二〇九七番へ
從來御投宿旅客本位で營業して居りましたが昨冬新車數台を準備し一般各位の御用命に應じたいと思ひますので何卒よろしく御引立を願ひます

各種
撫順炭
指定販賣 泰利號
新京日本橋詰
電話二一六九 二七六〇番

美酒佳肴
會席御料理
長春座裏
やよい
電話三四九〇番

新入荷
新ナラ漬、大根カス漬
守口大根漬、西瓜ナラ漬
市場 今田商店
電話二一三二番

ほねつぎ專門
骨折。脫臼。捻挫。打撲。筋骨一切
清水整骨院
並ニ電氣治療部(電療學院卒業生)
關節强直。關節炎。運動麻痺。脊髓炎。子宮病。乳出不足。喘息。イボヂ。リウマチス。中風。ルイレキ。イボ。ホクロ。ガンメンマヒ。其他慢性諸病。
電話(取次)三七五四番
新京入舟町二丁目七番地ノ四
經王寺廣路地二本目東入約半丁

明治四十一年二月十一日創立
營業狀態、資產、信用、性行、經歷、其他商事、人事結婚等ニ關スル調査日報、統計發行
滿洲興信公所
新京支所
大連市駿河町一 電話四七六六番
常盤町一丁目十二 電話四四六八番

羽根蒲團の購買會を初めました
御加入を願ひます
御一報次第お伺ひ申ます
吉野町二丁目(北滿旅舘南)
羽根蒲團製作販賣 山本商店
取次電話二一三三番

安くて正確な實用腕時計 多數入荷
最新型眼鏡 廉價提供
金華堂時計店
時計修理は正確に迅速に致します
吉野町二丁目 電話二六四五番

盛京時報
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

黒船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第三十六回

春の草野（六）

『なるほど、お主の樣子では、その三人のために、れいの立待臺場築造役人を失脚したのだな』

『見らるるとほり、このみすぼらしい態だ。その三人のために、おれも目茶苦茶よ』

『いや、三人とはいふまい、あの山村紫園、いやさお愛のためにその態だらう。情痴のみぐるしい姿ぢや』

『はッへゝゝゝ、いつもながら、取済ましたことをいふ。お愛のために江戸役人を棄て、はる／＼蝦夷くんだりまで流れて來たのだ。多くをいふてくれるな。しかも、そのお愛のために蝦夷の地で、さんざ足蹴にされたのだ』

『やはり、情痴の報いだ』

『いや、いふてくれるな。……もと／＼お主を追ふて來たお愛の奴だ。お主とゝもにこのおれを足蹴にするなら、いくぶんのあきらめもあらうが、人もあらうに、あの惡族本の典膳奴と手に手をとつて……』

『ほう……』

『黒船に便乘して逃げくさつたわ』

『なに！黒船？』

白軒は、おもはず身を乘り出した。

『おうさ。お主の望んでゐたフランス軍艦は、見ろ、箱館の海から姿をけしてしまつたわい。あの黒船に便乘し、夫婦氣取りで、どこへかうせやがつたのだ』

『うむ』

『だから白……いやさ漁夫の佐次郎、お主とこのおれは、これから何の役廻りを承つたらよいのぢや。お主には、あのお愛は問題ではあるまいが、フランス軍艦がめあてだつた。同樣に、おれにはあのフランス艦隊は、地上のあはつぶほどの存在でもないが、お主の鎌ふお愛にやつれるほど參つてるな。生人形、お前白[illegible]第一のものを奪はれてしまつた。このうへなんの望みがあつて箱館にゐ殘るつもりなのだ。木から落ちた猿同士、味方になつて、あいつらに報いるところがなければならぬではないか』

格之進は、饑武者な蟹面を白軒のそばへ近づけて、その顏をのぞきこんだ。

『なるほど……しかし、腑に落ちぬところがある。つまり、惡族本の乾典膳が、どうして貴公を差し置いて紫園に近づいたのだ。しかも、紫園とともにいかなる手段方法を構へてフランス艦隊々長に取入つたのぢや』

『そこだよ。あの乾典膳といふ人物。あれはただの惡族本上がりのならず者ではないと、おれは睨んでゐる。彼奴、ある筋と手を握つた大陰謀家ぢや』

『………』

『お主の、外國渡航どころではなく、もつと大博奕を打つために、蝦夷へ渡つたくせものにちがひないのぢや。臺場築造役人なぞと假面をかむる實は大伴の黒主だ』

『ふむ。あるひは、そんなところもあるかしれん。だが、貴公もとんだヘマをやつたものぢやのう。大切のお愛を、典膳ごときに寢取られるとは……』

『典膳奴、おれの役どころを奪つたのだ。みろ、このいたましい傷……』

格之進は、さういつて肩肌抜いでみせた。

四十男にしては脂切つた肌……その肩のあたりから右背へ脇腹へかけて、大きなすり傷のあとが無殘にも黒く流れてゐる。

『ほう、それは？』

『れいのほら、青剃り奴から、お愛の動靜を知らして寄越した、大切の手紙を奪ひ、おれの身替りになつて女に近づくため、典膳奴、おれを立待臺場の崖のうへから[illegible]

日本橋通り
みしまや呉服店
電話二五三五番

和洋家具、敷物
窓掛、文房具
洋品雜貨、建築材料
新京日本橋通
品川洋行新京支店
電話三〇六二・二五九三番
本店 大連　支店 奉天

機械工具
土木用品
鐵道用品
暖房用品
建築材料
建築金物部＝新設
各品在庫豐富
（信）鳥羽洋行支店
新京曙町四丁目十四番地
電話二三三四番
本店 大連

地洋服
合物嶄新柄入荷
合服のお仕度を……
おからだにシツクリとあつて算盤に合つて
吉野町二丁目
横田洋服店
電話二一四八番

營業科目
一、海陸運送取扱營業　四、勞力請負
二、倉庫及金融　五、委託販賣
三、代辨及保證　六、前各項關係一切業務
國際運輸株式會社 新京支店
電話
二五〇四 支店長 支店長代理
二九三一 庶務係
二三〇一 倉庫金融係
二一三三 船積係
二三四六 東支線發著係
二六六五 經理係
二四八五 小口發送（南滿吉長吉敦）市內運搬
三〇五九 專用線荷役所
二一六三八 專用線荷扱所
二五一〇 日ノ出町倉庫
二三九一 馬車部
二一一五 華工事務所
三一九六 寬城子荷役所
三七九 支店長宅
二一七六 支店長代理宅
二七四三 作業係主任宅

鍼灸治療は醫術の補足と見る可くリユウマチス神經痛の如き容易に治し難きものも旬日を出ずして容易に全治する事を得べし其の他瘍、チヨウ、セツの如き一切の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機能障害を貽すことなし
胃傷病特効藥並下熱セキ止メ肺炎の妙藥あり
新京室町三丁目七 公學校前
吉光堂療院
鍼灸師 勳七等 吉田光
電三七三六

着荷案内
熊岳城産の
紅玉リンゴ（百目金十二錢）
箱入のモノモアリマス
皆さま
季節に應じ
ふとん綿、たんぜん綿
破格廉賣致し居ます
蓬萊町一丁目
調辨所
電話三五七三番

御旅行者及一般の御便宜を計る爲左記取扱を致しますから御利用願ひます
一、新京驛發送手荷物、小荷物の蒐集及代理託送
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か葉書にて左記に申込み下さい
新京中央通十一番地
谷口商會
（通濟運輸公司）
電話三二一四一番
尙申込は小荷物扱所（社内二一二四番）にされても宜敷うムいます

資本金 壹億圓（拂込濟）
積立金 壹億壹千八百四十五萬圓
橫濱正金銀行新京支店
銀行代表 電話三六一一　公衆用 二三七〇
支配人舍宅 二一一七　支配人代理 二九六九
共同舍宅 二六二一
●本店 横濱
支店及出張所 東京、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、倫敦、漢堡、巴里、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シアトル、布哇、リオデジヤネイロ、シドニー、孟買、カルカツタ、蘭貢、新嘉坡、スーラバヤ、バタビア、カラチ、スマラン、馬尼拉、伯林、香港、廣東、上海、靑島、漢口、天津、北平、大連、牛莊、奉天、開原、哈爾賓、フレキサンドリア

商號變更公告
株式會社 長春實業銀行
弊行儀本日ヨリ商號ヲ左記ノ通リ變更致シ候ニ付此段公告候也
昭和八年二月十六日
左記
新京三笠町三丁目八番地
新商號 株式會社 新京銀行
電話（二一〇三・二一九〇四番）
追而通帳、小切手等ハ在來ノモノ御使用差支無之候間為念申添候

石炭は＝松茂洋行＝電話二〇四二・二五三七・二五六七番

中央通西公園前
開山崎齒科院
診療 每日 午前八時－午後八時
日曜 午後一時－五時

辯護士 法學士 大原萬千百法律事務所
老松町十六番地（元競馬場跡朝日通北側）
電話（三九三七・三九六七）番
哈爾賓地段街東拓ビル内 電話四五〇六番

吉野町二丁目北滿旅館横入
內地三大都市流行仕立上り
東京小林甚太郎
大連三島屋
柳屋衣服店
洋服店製品販賣所
電話三一五二番

辯護士 沼田勇
吉野町一丁目三番地
電話三七二八番

朝鮮銀行新京支店（日本銀行代理店）
本店 京城
支店、出張所
內地、東京、大阪、大阪西區、神戸、下關
朝鮮、釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲、大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、安東縣、哈爾賓、傅家甸、錦州、齊々哈爾
支那、上海、青島、天津
米國 紐育、英國 倫敦（駐在員）
滿洲國幣勘定ヲモ取扱仕候
金勘定預金貸出、爲替事務ノ外鈔票勘定
電話 營業所宿直 三六一六番　支配人舍宅 三二二六番　次席舍宅 二〇六六番

三井物産株式會社 新京出張所
本店 東京日本橋區室町二丁目一番地
滿洲支店 大連市山縣通一八二番地
資本金 一億圓（全額拂込濟）
電話
三六〇 所長席　二〇一二 保險、機械、庶務
三八四 賣買　二四四四 保險
三八八 勘定出納　二七六三 三井倉庫
二九八 二四六〇 所長社宅
三〇六三 三五八 社員社宅
取扱品目 穀物、穀粉、大豆其他豆類、大豆粕其他粕類、豆油其他油脂類、石炭、鐵道用品、電氣其他機械類一般、砂糖、セメント、燐寸、紙類、麻袋、生糸、金物、木材、化學肥料、工業藥品、食料品、其他雜品、人絹織物

ちり鍋
鋤燒
寄せ鍋
水たき
すし竹食堂
日本橋通 電話二七二四番

御料理 梅月
新京三笠町三丁目
電話二七八四番

御料理 泰東
新築の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げてゐます、是非一度御出向きを願上ます
富士町二丁目
電話二四七四番

御料理 會席 大吉
水崎よし
電話三一五九番

會席 御料理 蓼廼家
富士町一丁目
電話三五〇七番

美人揃ひの 美人樓
キヤピタルダンスホール前
富士町二丁目二十六

御料理 吾妻
城內西五馬路